

II. 調査の結果

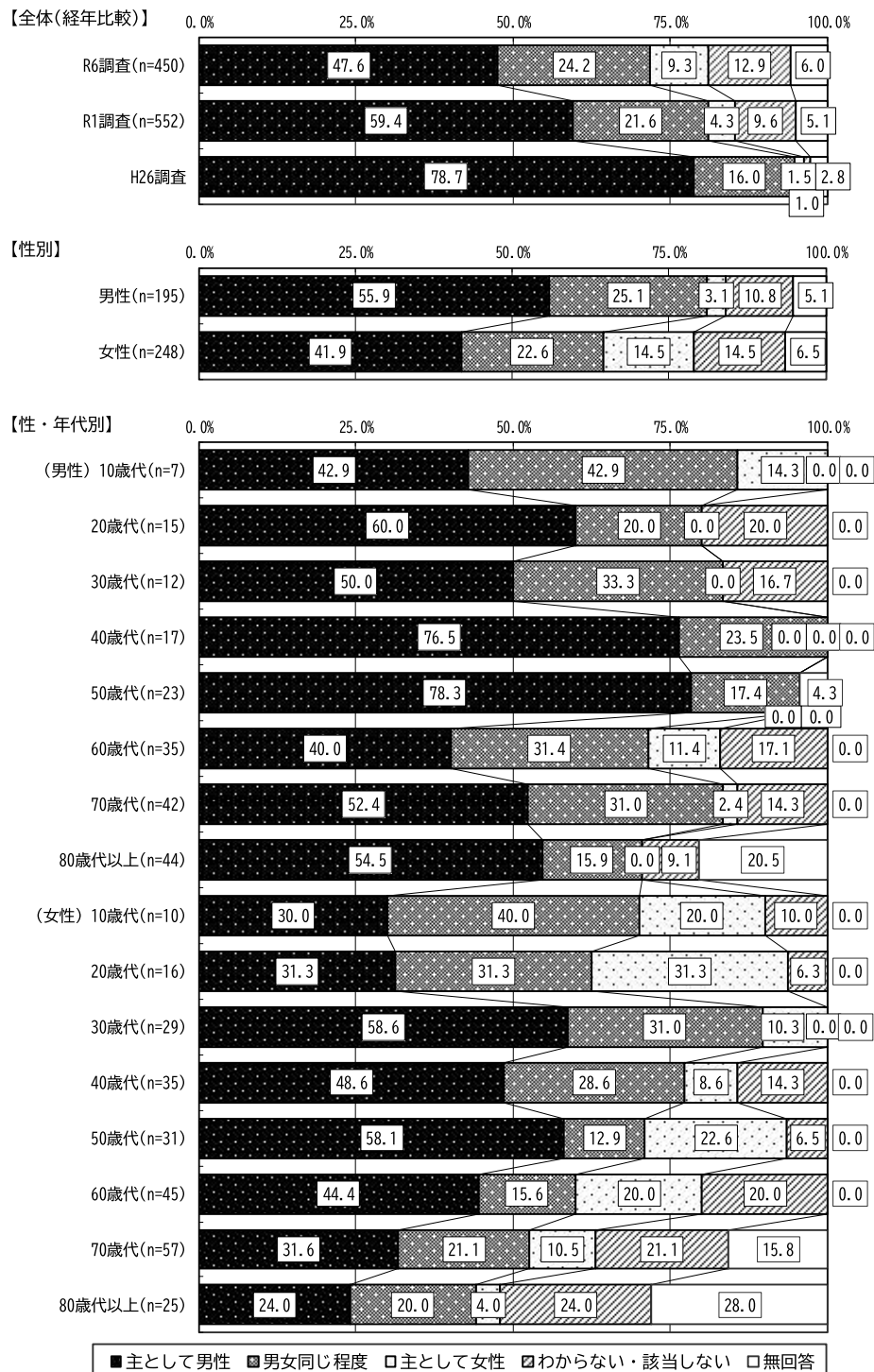
1 家庭生活について

問1 家庭では、次のような事を主として男性・女性どちらがされていますか。(〇はそれぞれ1つ)

① 生活費をかせぐ

「主として男性」が47.6%と最も多く、次いで「男女同じ程度」が24.2%、「主として女性」が9.3%となっている。

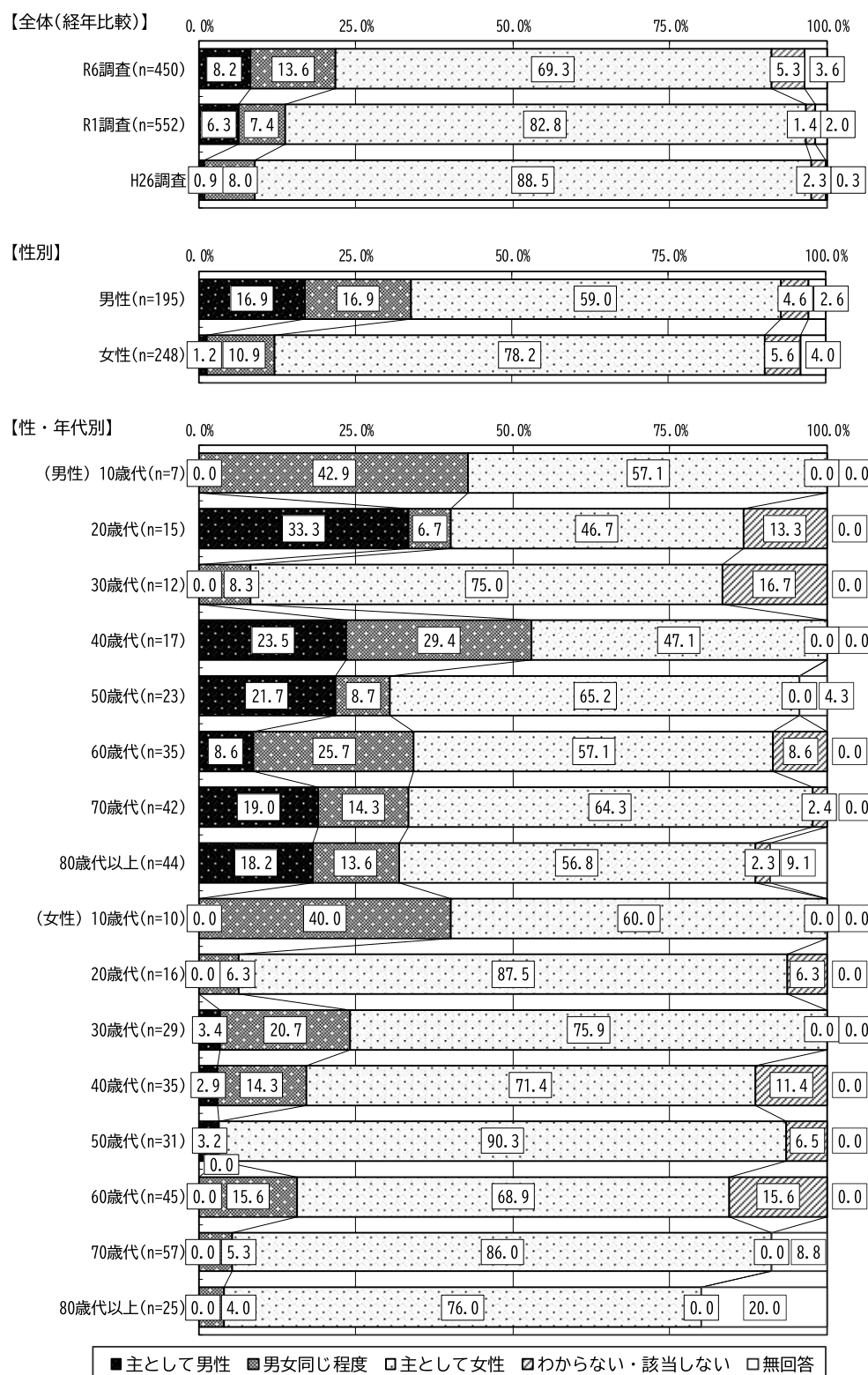
性別・年代別では、男性はどの年代も「主として男性」が最も多く、女性も10歳代で「男女同じ程度」が、概ねその他の年代で「主として男性」が最も多くなっている。(男性10歳代は「男女同じ程度」、女性20歳代は「男女同じ程度」「主として女性」と同率)



② 食事のしたく

「主として女性」が 69.3%と最も多く、次いで「男女同じ程度」が 13.6%、「主として男性」が 8.2%となっている。

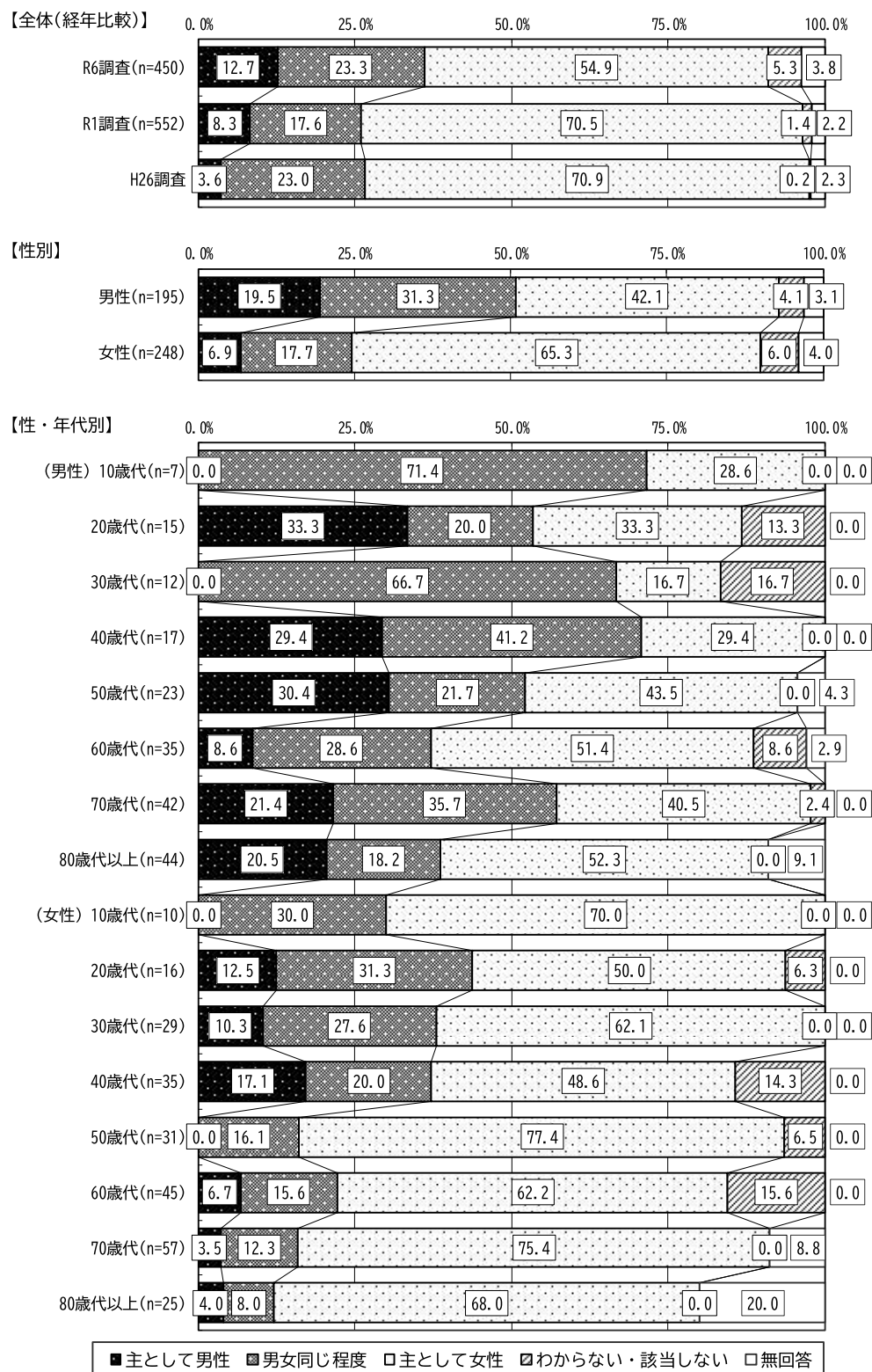
性別・年代別では、総じて「主として女性」が最も多くなっている。



③ 食事の後片付け

「主として女性」が 54.9%と最も多く、次いで「男女同じ程度」が 23.3%、「主として男性」が 12.7%となっている。

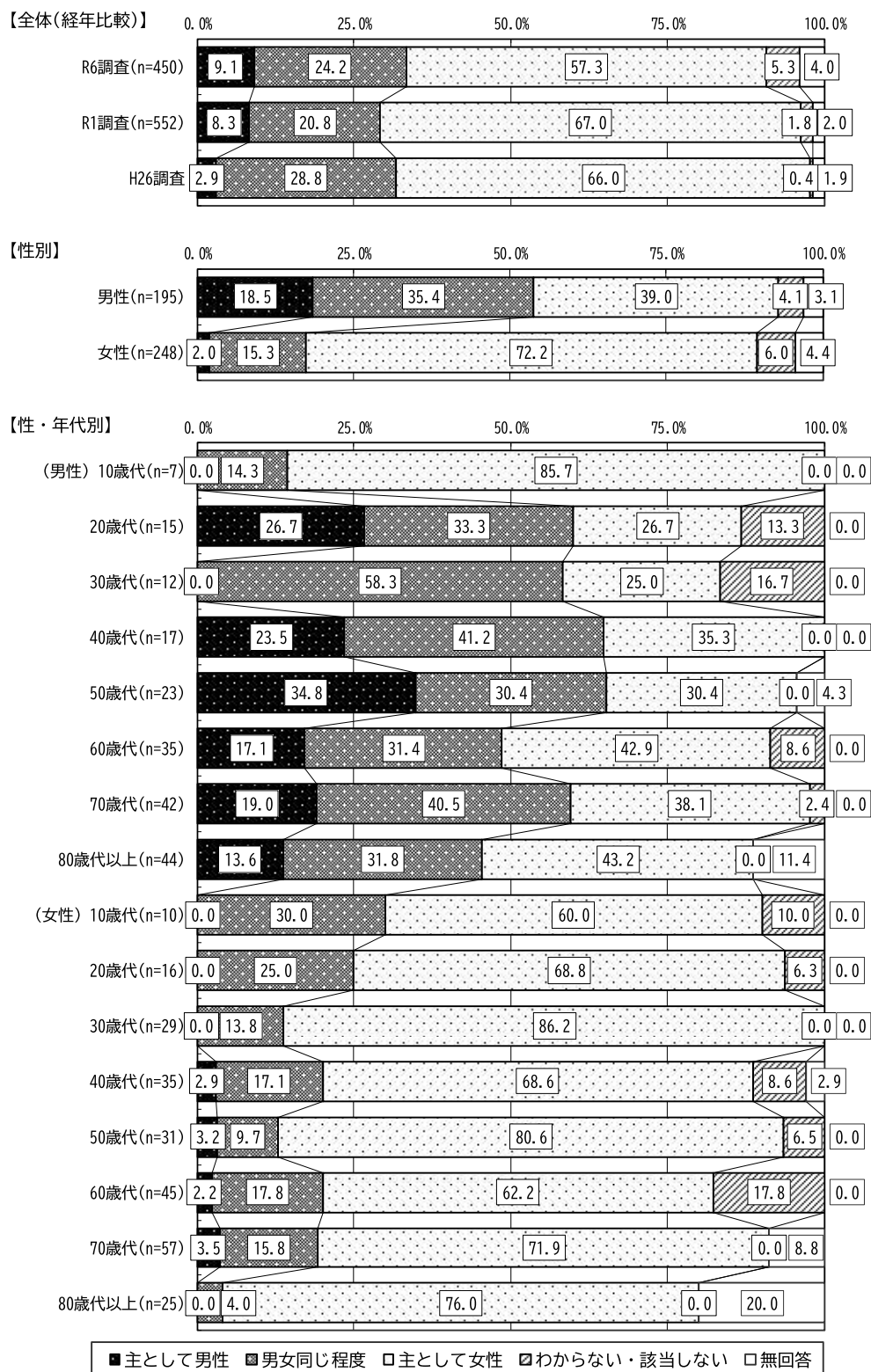
性別・年代別では、男性は 10 歳代、30 歳代、40 歳代で「男女同じ程度」が、その他の年代で「主として女性」が最も多くなっている。女性はこの年代も「主として女性」が最も多くなっている。（男性 20 歳代は「主として女性」と同率）



④ 掃除

「主として女性」が 57.3%と最も多く、次いで「男女同じ程度」が 24.2%、「主として男性」が 9.1%となっている。

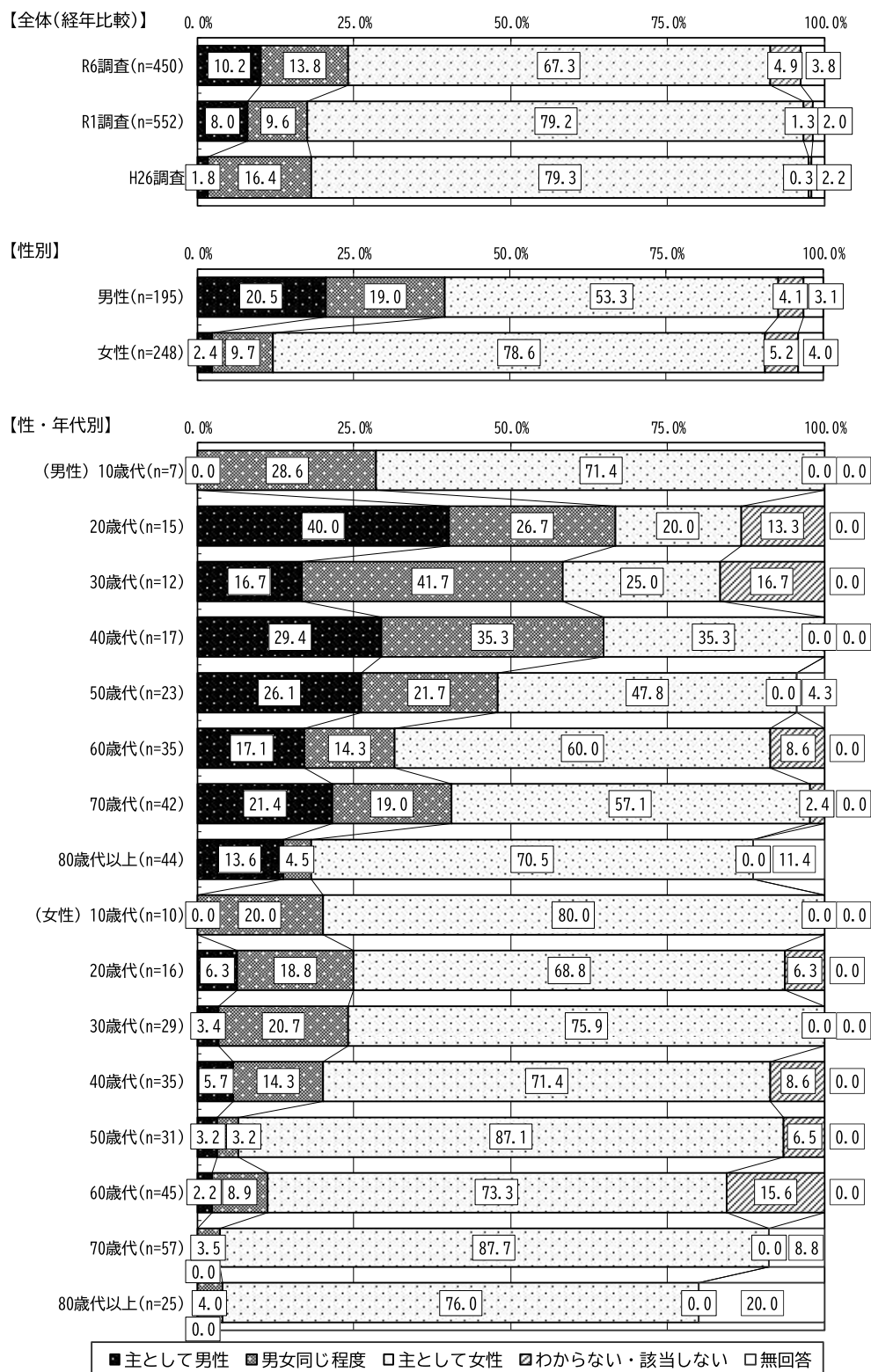
性別・年代別では、男性は 50 歳代で「主として男性」が、10 歳代、60 歳代で「主として女性」が、その他の年代で「男女同じ程度」が最も多くなっている。女性はこの年代も「主として女性」が最も多くなっている。



⑤ 洗濯

「主として女性」が 67.3%と最も多く、次いで「男女同じ程度」が 13.8%、「主として男性」が 10.2%となっている。

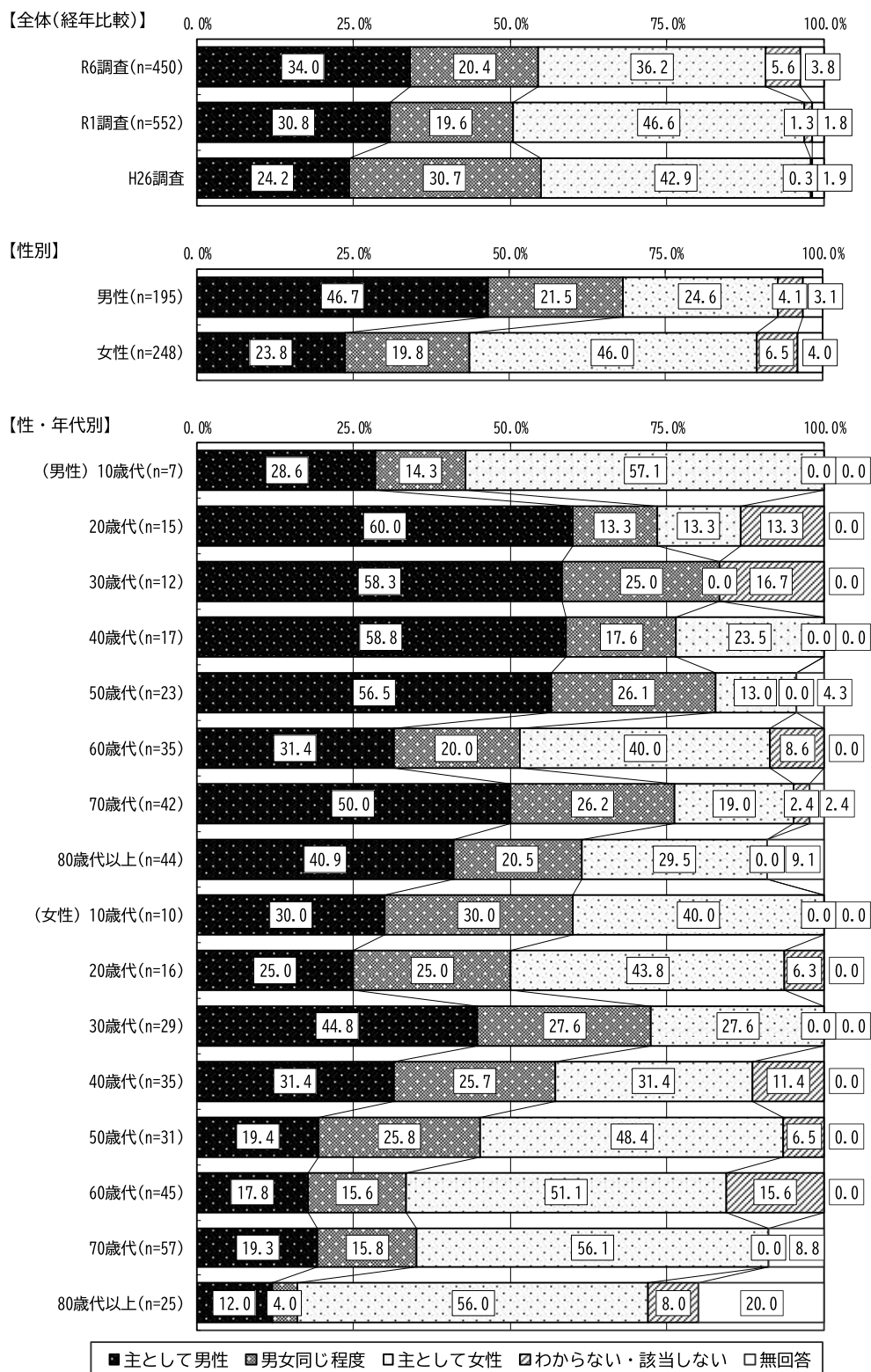
性別・年代別では、男性は 20 歳代で「主として男性」が、30 歳代、40 歳代で「男女同じ程度」が、その他の年代で「主として女性」が最も多くなっている。女性はこの年代も「主として女性」が最も多くなっている。(男性 40 歳代は「主として女性」と同率)



⑥ ごみ出し

「主として女性」が 36.2%と最も多く、次いで「主として男性」が 34.0%、「男女同じ程度」が 20.4%となっている。

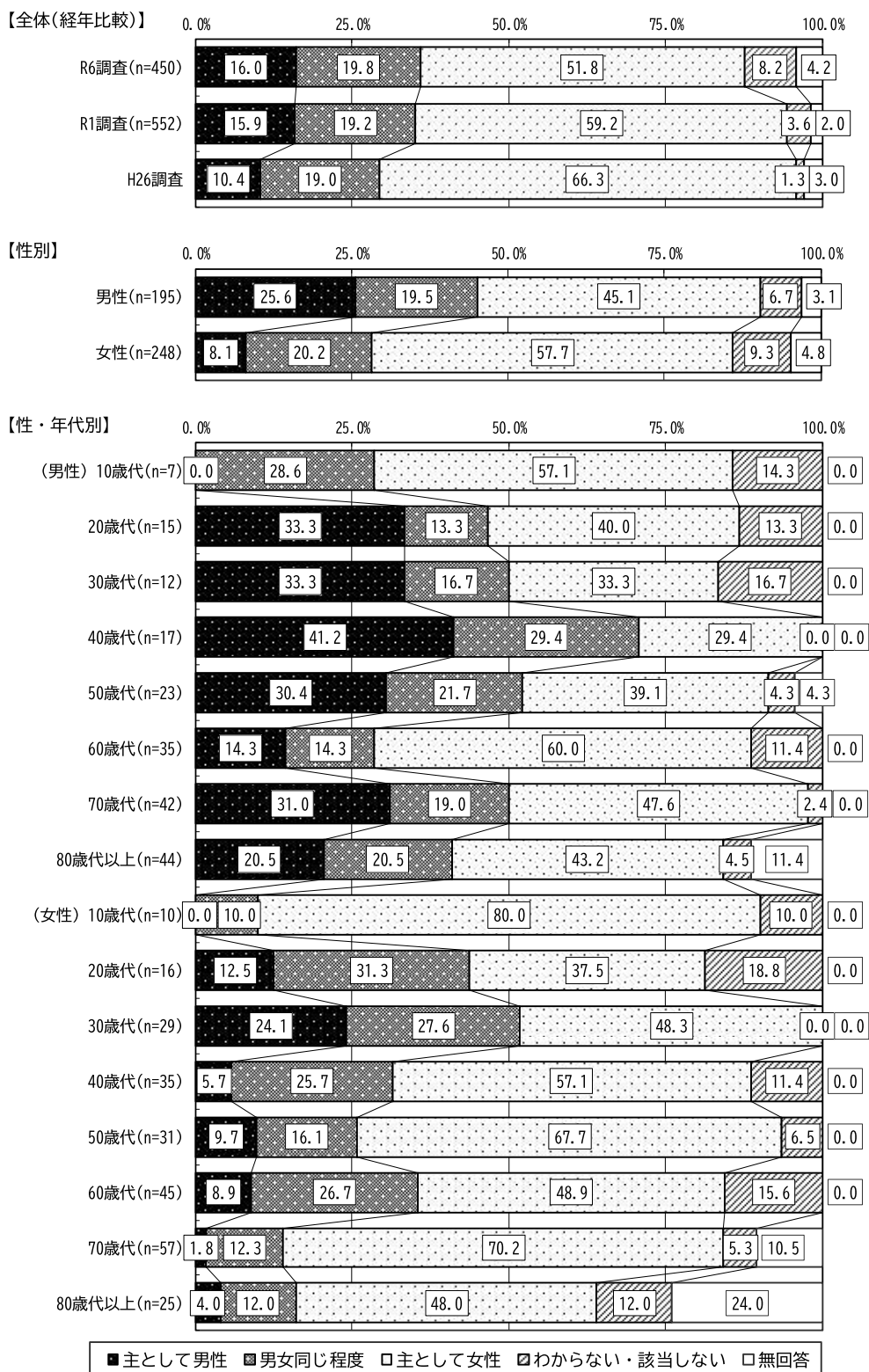
性別・年代別では、男性は 10 歳代、60 歳代で「主として女性」が、その他の年代で「主として男性」が最も多くなっている。女性は 30 歳代、40 歳代で「主として男性」が、その他の年代で「主として女性」が最も多くなっている。（女性 40 歳代は「主として女性」と同率）



⑦ 家計の管理

「主として女性」が 51.8%と最も多く、次いで「男女同じ程度」が 19.8%、「主として男性」が 16.0%となっている。

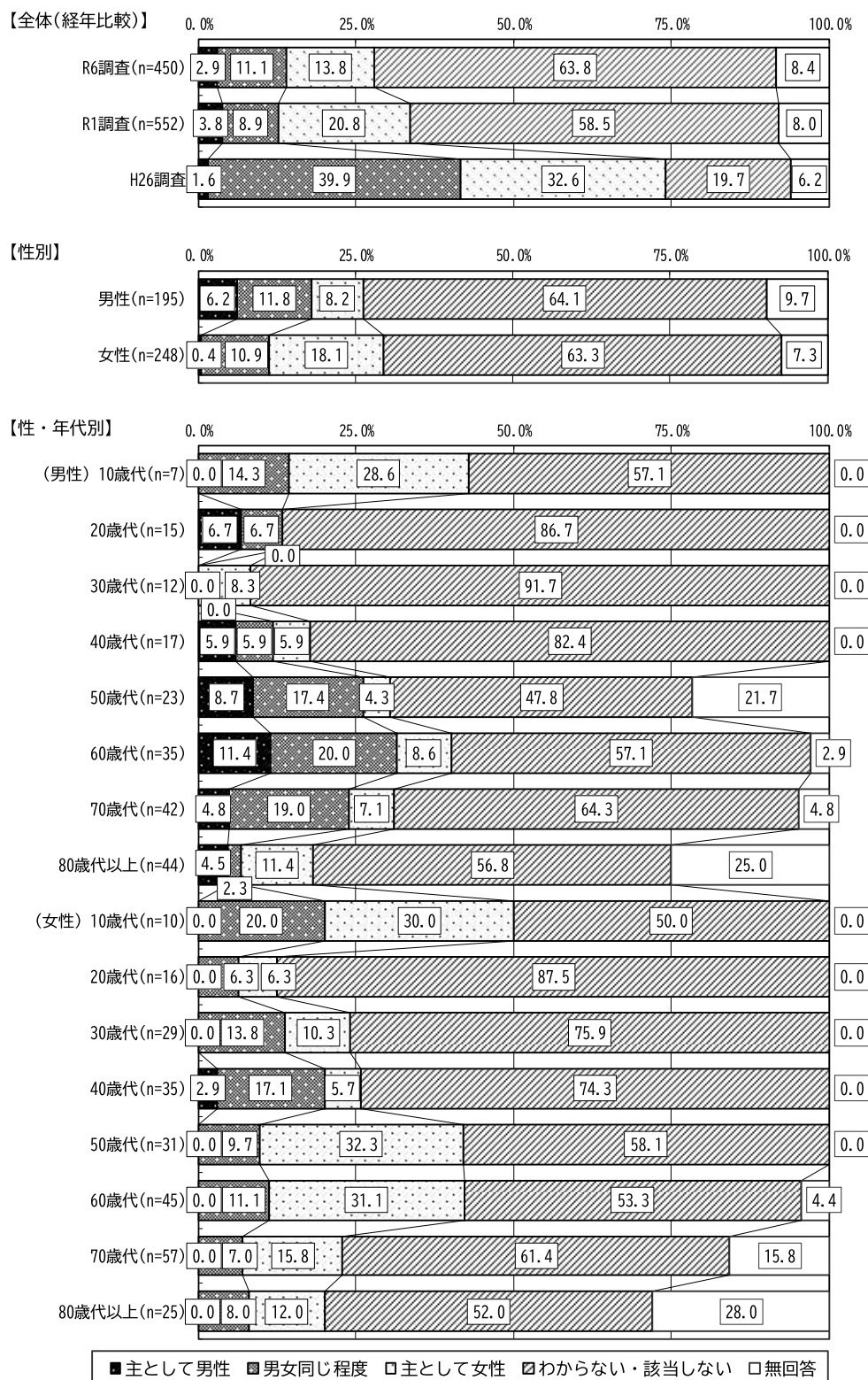
性別・年代別では、男性は 30 歳代、40 歳代で「主として男性」が、その他の年代で「主として女性」が最も多くなっている。女性はこの年代も「主として女性」が最も多くなっている。
(男性 30 歳代は「主として女性」と同率)



⑧ 介護が必要な高齢者や病人の世話

「わからない・該当しない」が63.8%と最も多く、次いで「主として女性」が13.8%、「男女同じ程度」が11.1%、「主として男性」が2.9%となっている。

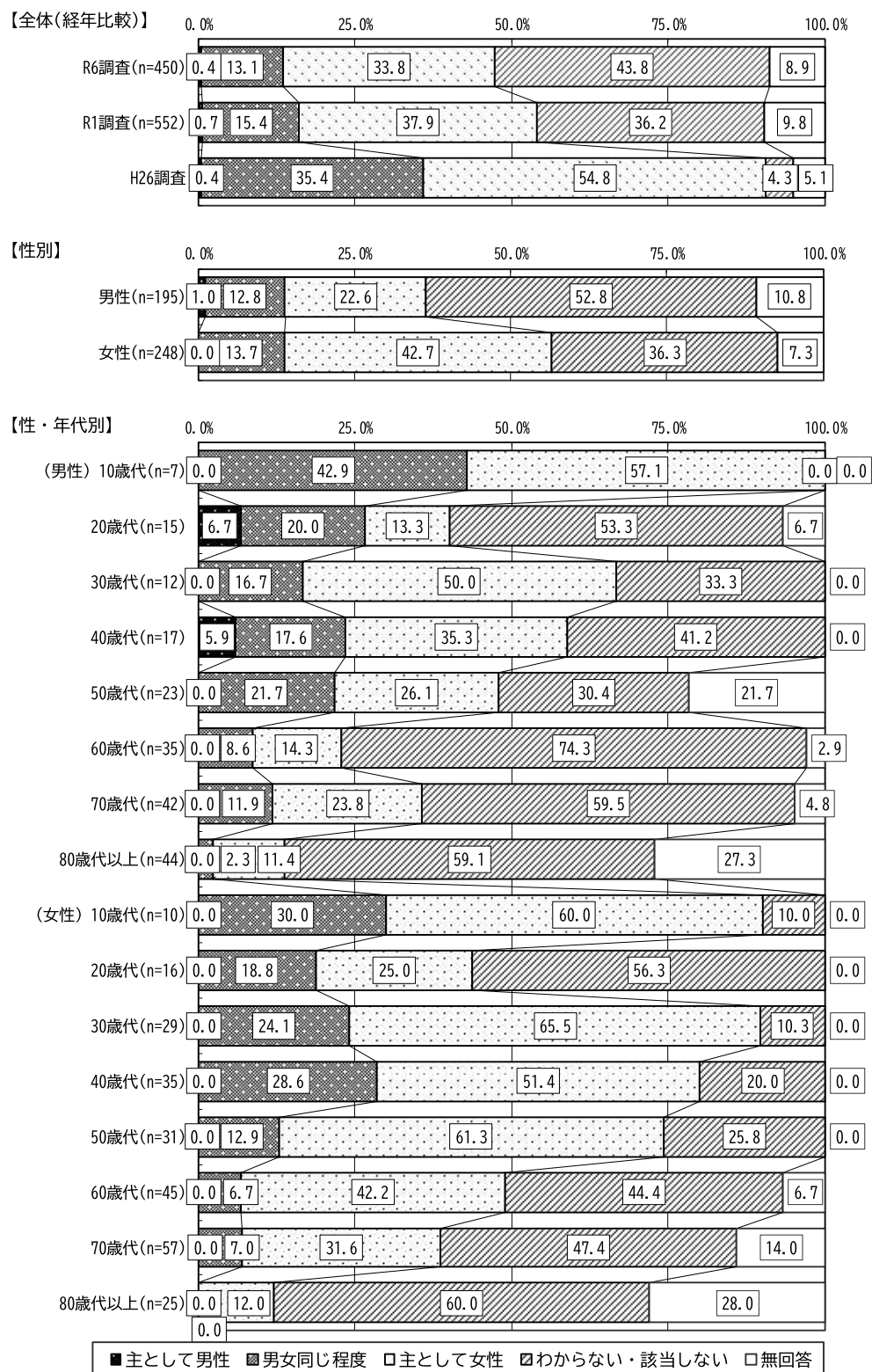
性別・年代別では、総じて「わからない・該当しない」が最も多くなっている。男性で「主として男性」と答えた割合は60歳代が1割、女性で「主として女性」と答えた割合は10歳代、50歳代、60歳代で3割を超えている。また、「男女同じ程度」は男性は60歳代、女性は10歳代で2割となっている。



⑨ 子育てや子どもの世話

「わからない・該当しない」が43.8%と最も多く、次いで「主として女性」が33.8%、「男女同じ程度」が13.1%、「主として男性」が0.4%となっている。

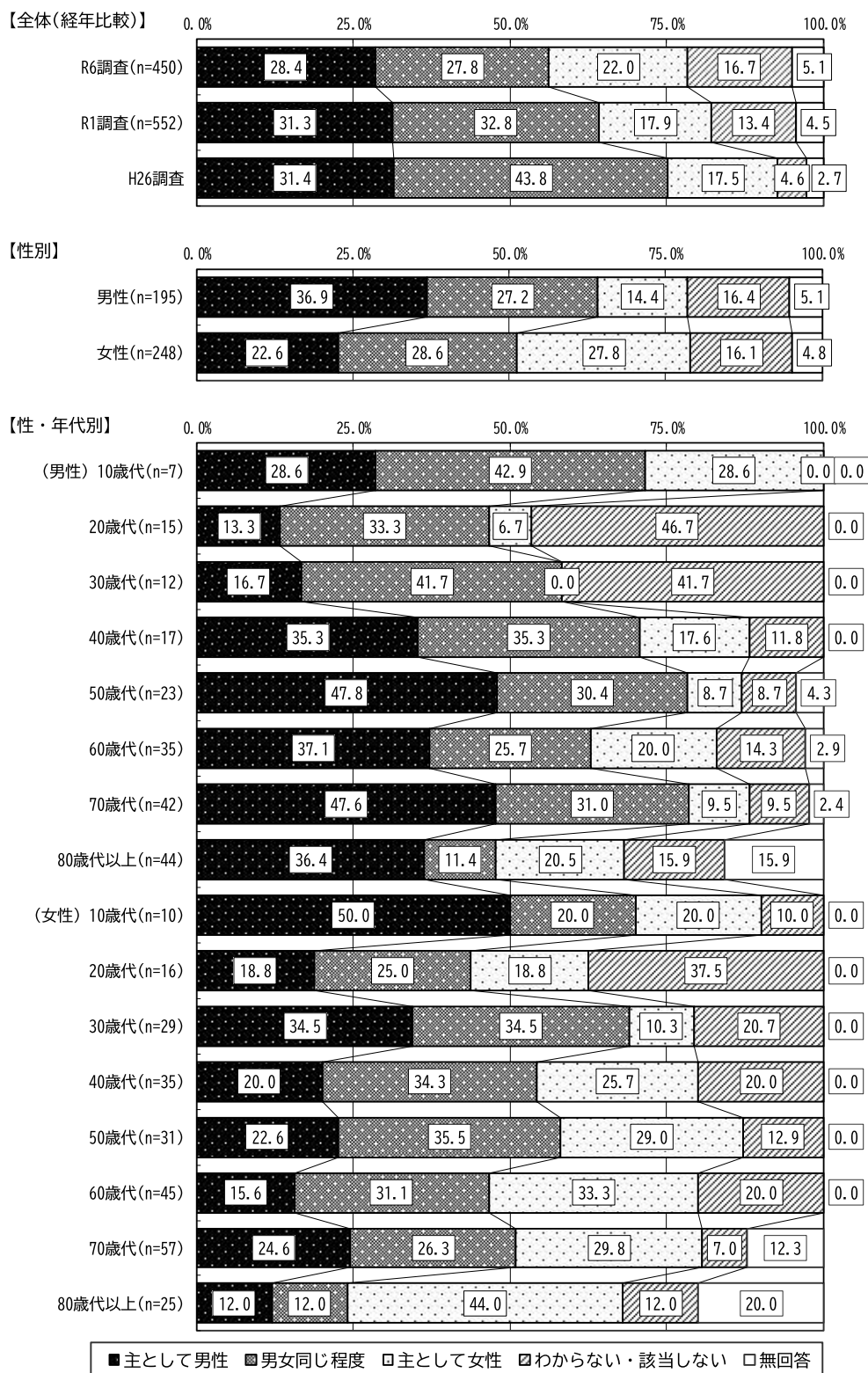
性別・年代別では、男性は10歳代、30歳代、女性は10歳代、30歳代から50歳代で「主として女性」が、その他の年代は「わからない・該当しない」が最も多くなっている。



⑩ 地域活動への参加（自治会活動など）

「主として男性」が28.4%と最も多く、次いで「男女同じ程度」が27.8%、「主として女性」が22.0%となっている。

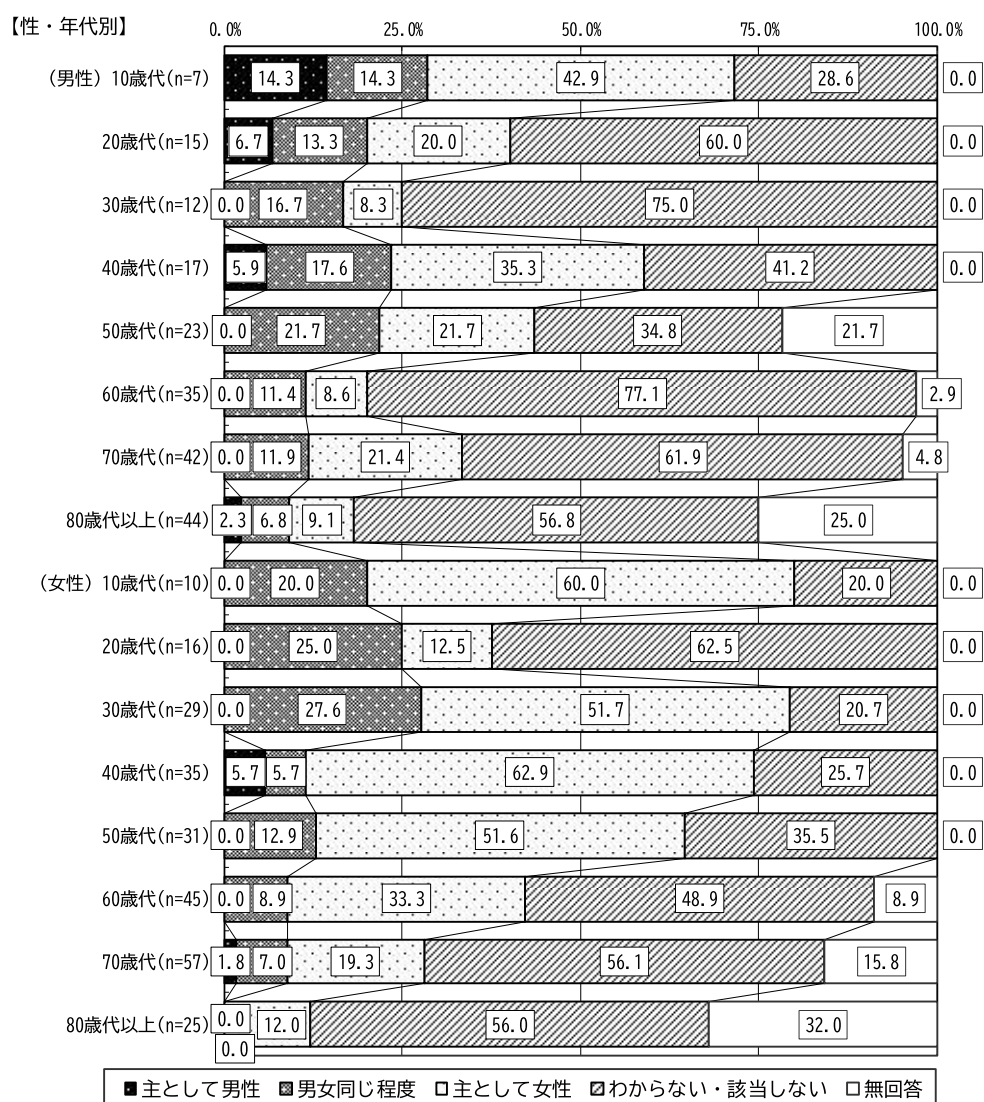
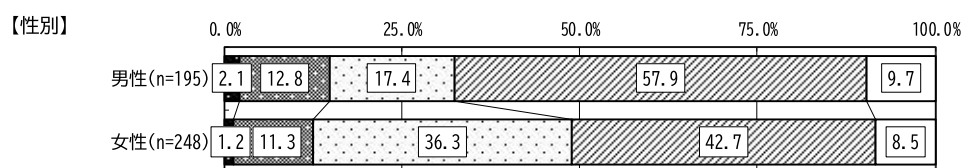
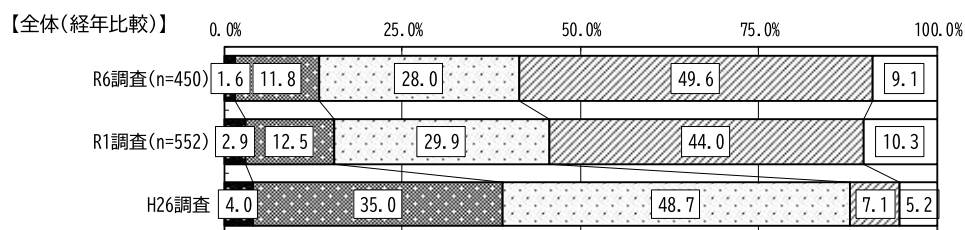
性別・年代別では、男性は40歳以上で「主として男性」が、10歳代、30歳代で「男女同じ程度」、20歳代で「わからない・該当しない」が最も多くなっている。女性は20歳代で「わからない・該当しない」が、30歳代から50歳代で「男女同じ程度」が、60歳以上で「主として女性」が最も多くなっている。（男性30歳代は「わからない・該当しない」、40歳代は「男女同じ程度」と、女性30歳代は「主として男性」と同率）



⑪ 学校行事、PTAなどの参加

「わからない・該当しない」が49.6%と最も多く、次いで「主として女性」が28.0%、「男女同じ程度」が11.8%、「主として男性」が1.6%となっている。

性別・年代別では、男性は10歳代で「主として女性」が、その他の年代で「わからない・該当しない」が最も多くなっている。女性は10歳代、30歳代から50歳代で「主として女性」が、その他の年代で「わからない・該当しない」が最も多くなっている。

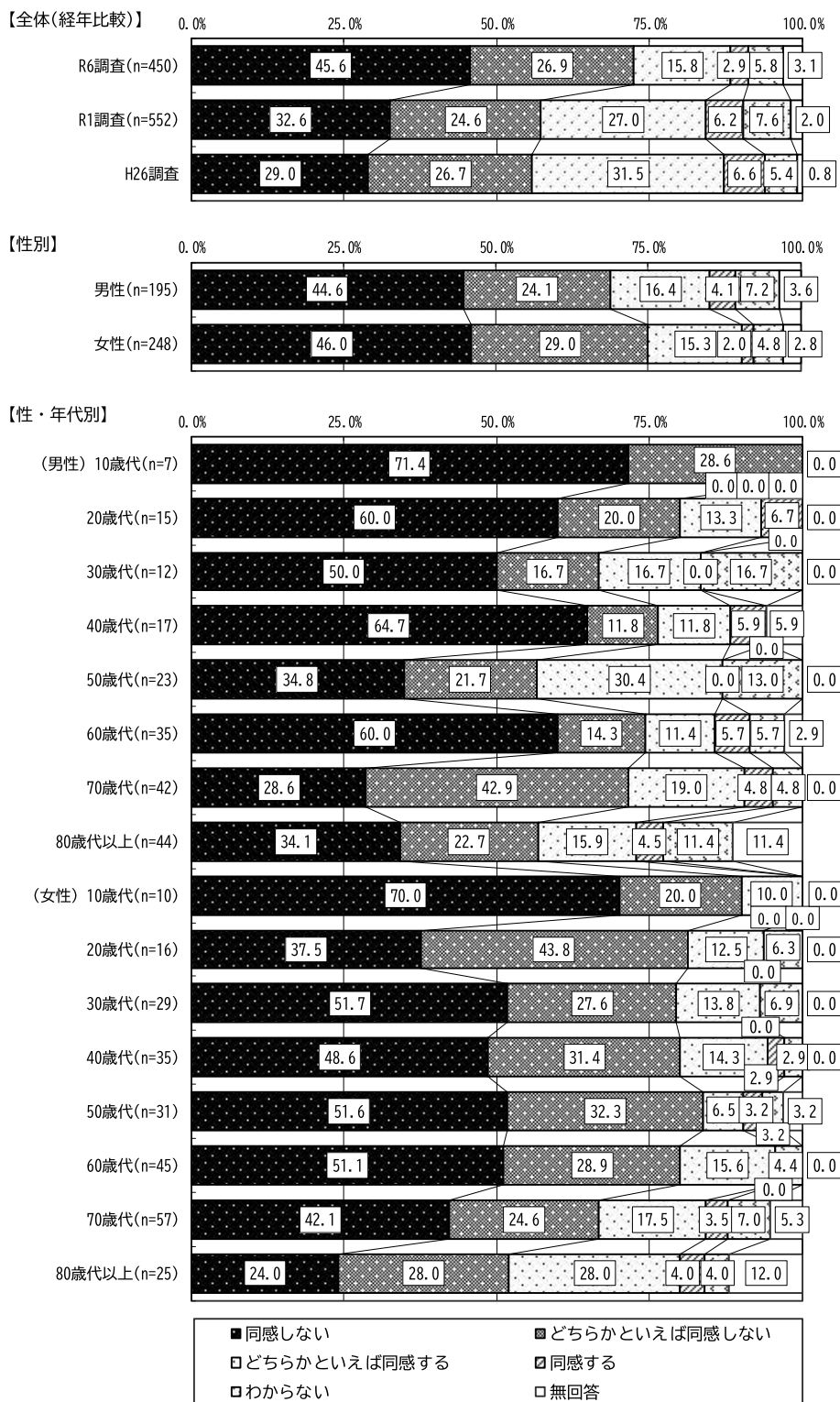


問2 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方がありますが、あなたはこの考え方に同感しますか。もっともあてはまるもの1つに○をつけてください。

「同感しない」が45.6%と最も多く、次いで「どちらかといえば同感しない」が26.9%、「どちらかといえば同感する」が15.8%、「同感する」が2.9%となっている。

「同感しない」、「どちらかといえば同感しない」の合わせた割合（『同感しない』）は7割を超えている。

性別・年代別では、男性、女性ともにどの年代も『同感しない』の割合が高く、なかでも10歳代は男性が100.0%、女性が90.0%となっている。

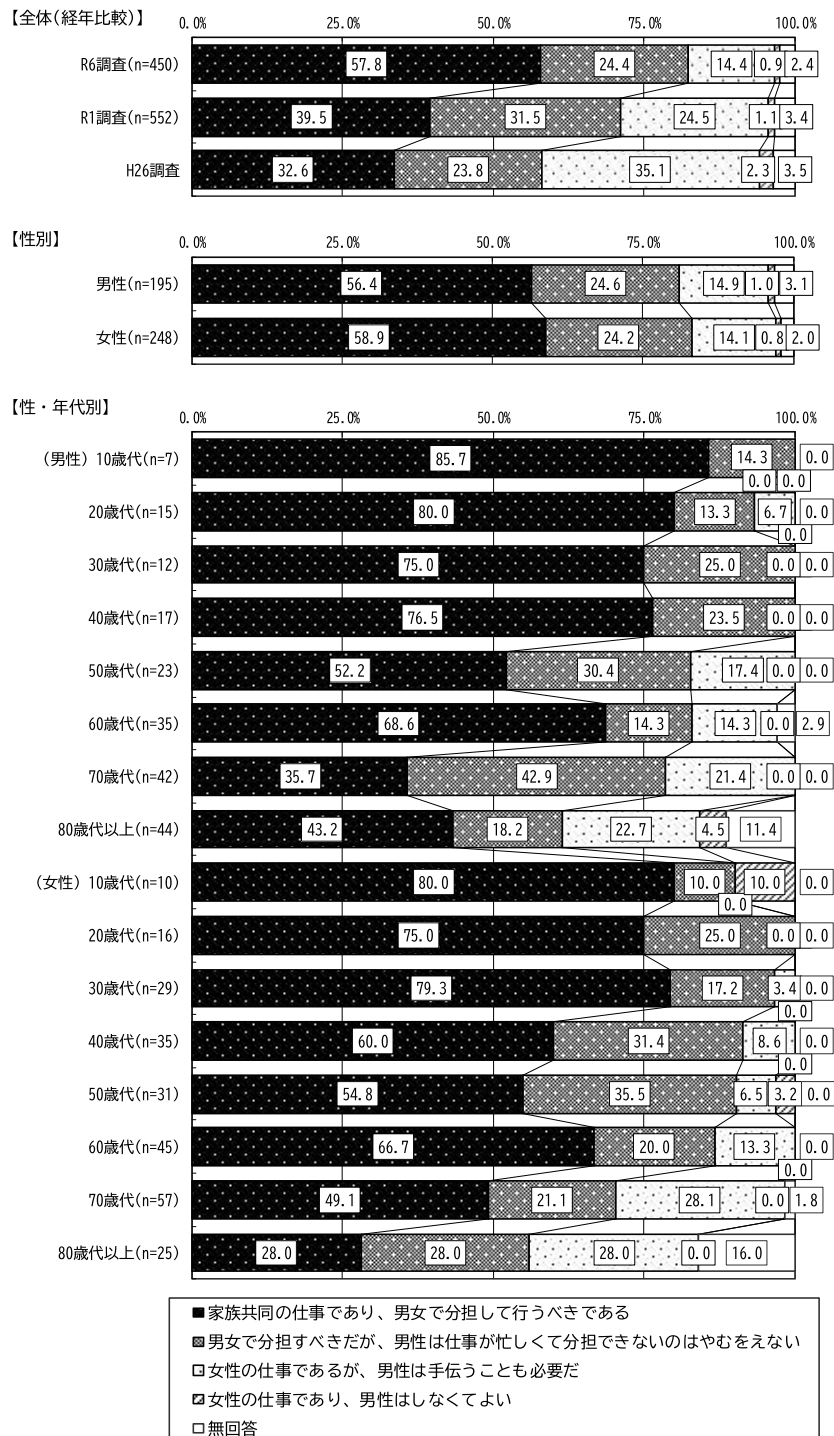


問3 家事と育児について、あなたの考えに近いものをお答えください。(○はそれぞれ1つ)

① 家事について

「家族共同の仕事であり、男女で分担して行うべきである」が 57.8%と最も多く、次いで「男女で分担すべきだが、男性は仕事が忙しくて分担できないのはやむをえない」が 24.4% 「女性の仕事であるが、男性は手伝うことも必要だ」が 14.4%となっている。

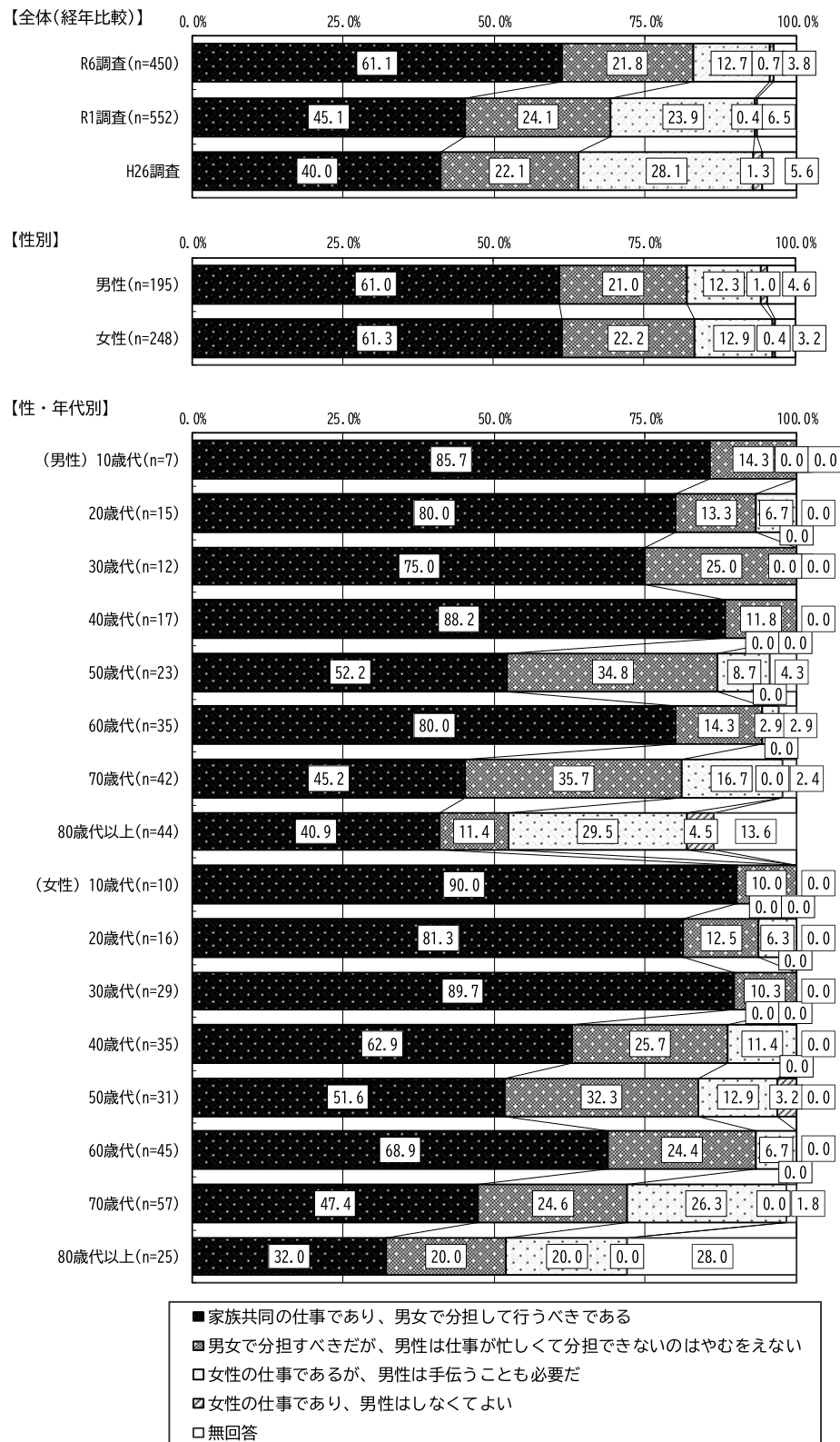
性別・年代別では、男性は 70 歳代で「男女で分担すべきだが、男性は仕事が忙しくて分担できないのはやむをえない」が、その他の年代で「家族共同の仕事であり、男女で分担して行うべきである」が最も多くなっている。女性はどの年代も「家族共同の仕事であり、男女で分担して行うべきである」が最も多くなっている。(80 歳代以上は「男女で分担すべきだが、男性は仕事が忙しくて分担できないのはやむをえない」「女性の仕事であるが、男性は手伝うことも必要だ」と同率)



② 育児について

「家族共同の仕事であり、男女で分担して行うべきである」が 61.1%と最も多く、次いで「男女で分担すべきだが、男性は仕事が忙しくて分担できないのはやむをえない」が 21.8%「女性の仕事であるが、男性は手伝うことも必要だ」が 12.7%となっている。

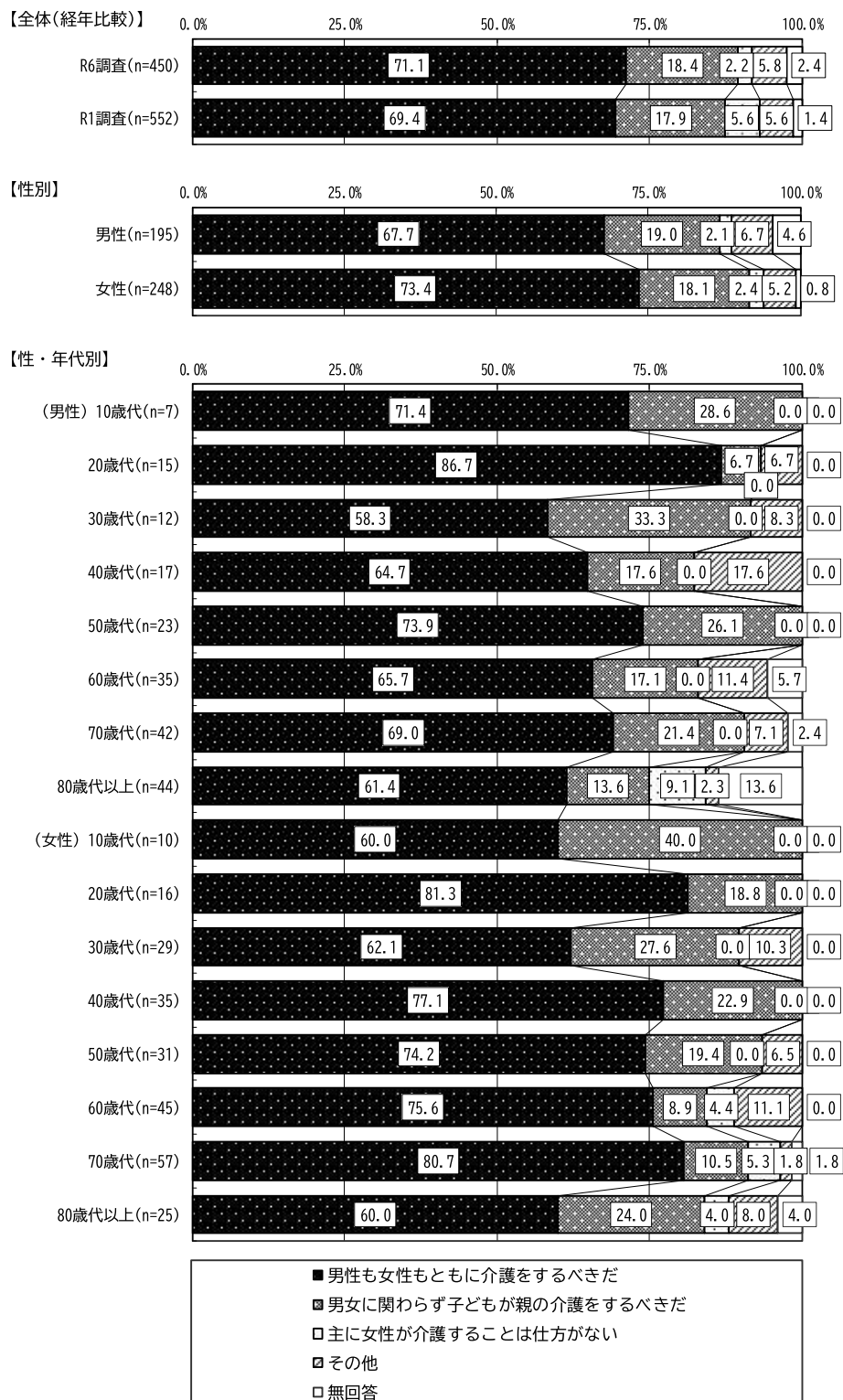
性別・年代別では、総じて「家族共同の仕事であり、男女で分担して行うべきである」が最も多くなっている。また、男性は 80 歳代以上、女性は 70 歳代以上で「女性の仕事であるが、男性は手伝うことも必要だ」の割合が他の年代に比べて高くなっている。



問4 あなたは、高齢者の介護を誰が担うべきだと思いますか。もっともあてはまるもの1つに○をつけてください。

「男性も女性もともに介護をするべきだ」が71.1%と最も多く、次いで「男女に関わらず子どもが親の介護をするべきだ」が18.4%、「主に女性が介護することは仕方がない」が2.2%となっている。

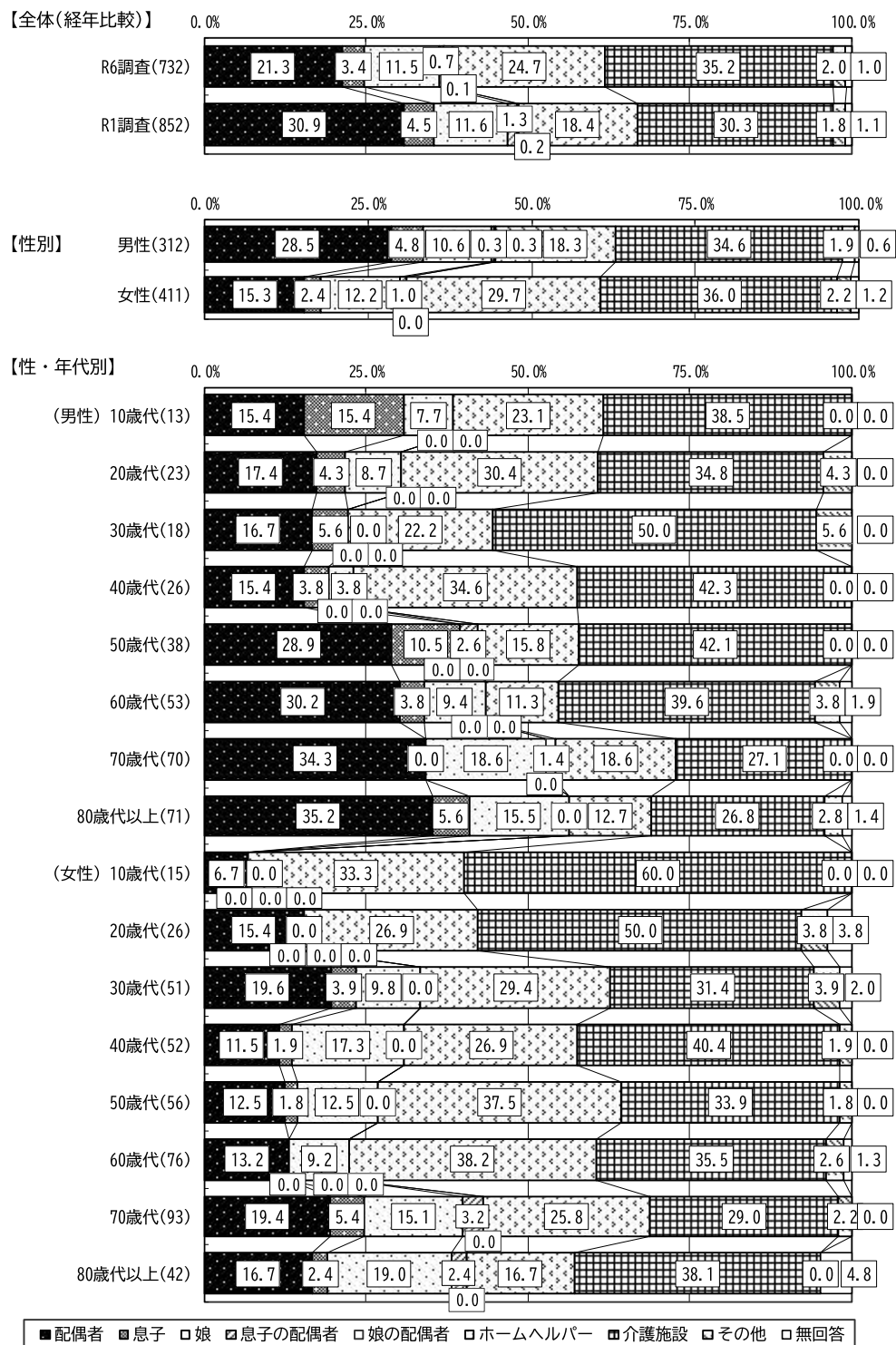
性別・年代別では、総じて「男性も女性もともに介護をするべきだ」が最も多くなっている。また、男性は30歳代、女性は10歳代で「男女に関わらず子どもが親の介護をするべきだ」の割合が他の年代に比べて最も高くなっている。



問5 あなた自身の介護が必要になった場合、誰に介護をしてもらいたいですか。あなたが希望する担い手を2つまで選び、○をつけてください。

「介護施設」が35.2%と最も多く、次いで「ホームヘルパー」が24.7%、「配偶者」が21.3%と続いている。

性別・年代別では、男性は70歳代以上で「配偶者」が、その他の年代で「介護施設」が最も多くなっている。女性は50歳代、60歳代で「ホームヘルパー」が、その他の年代で「介護施設」が最も多くなっている。また、男性は「配偶者」の割合が高く、女性は「ホームヘルパー」の割合が高くなっている。



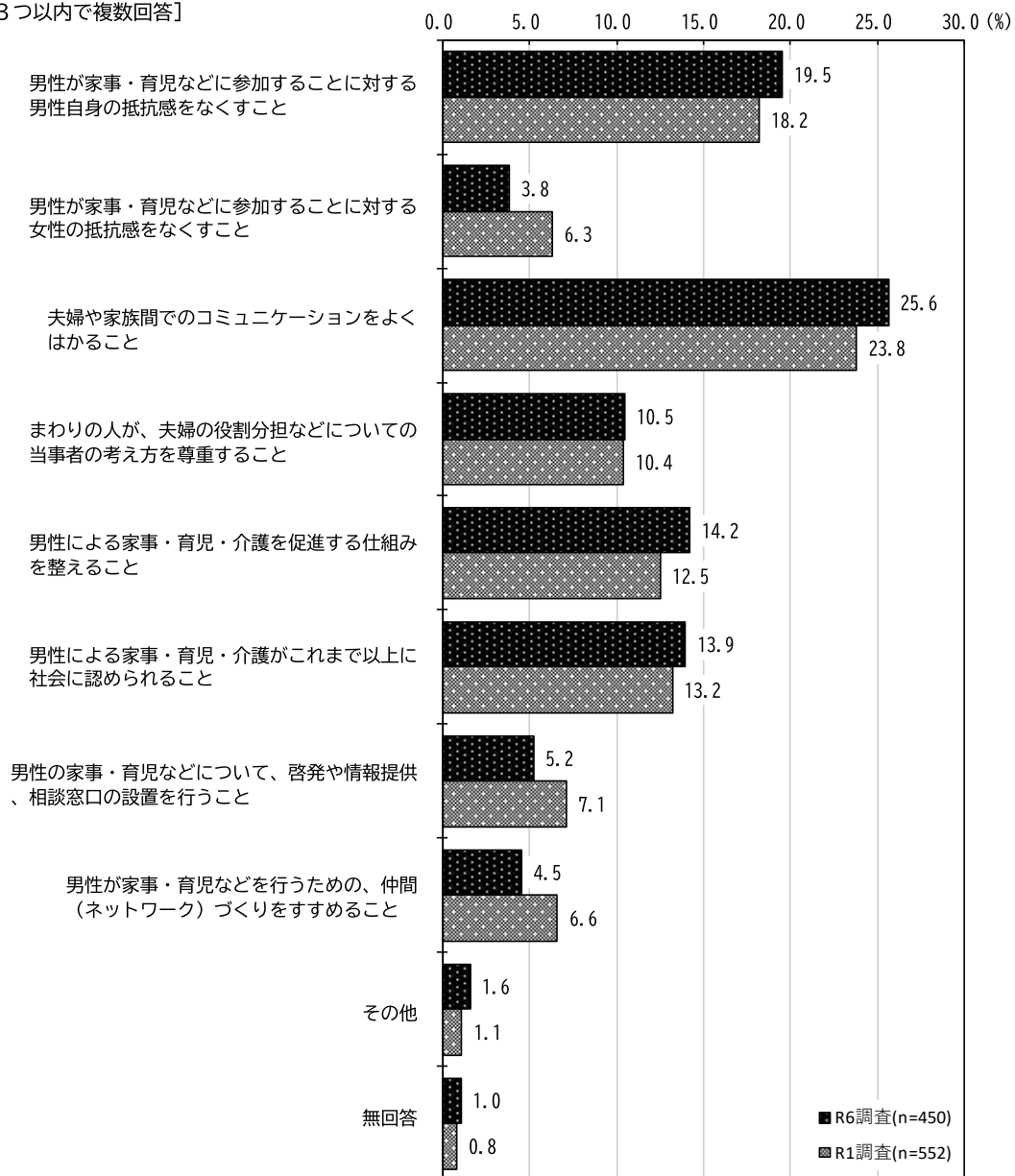
() : 回答数

問6 今後、男性が女性とともに家事・育児・介護を行うためには、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。特に必要だと思うものを3つまで選び、○をつけてください。

「夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること」が25.6%と最も多く、次いで「男性が家事・育児などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと」が19.5%、「男性による家事・育児・介護を促進する仕組みを整えること」が14.2%と続いている。

【全体】

[3つ以内で複数回答]

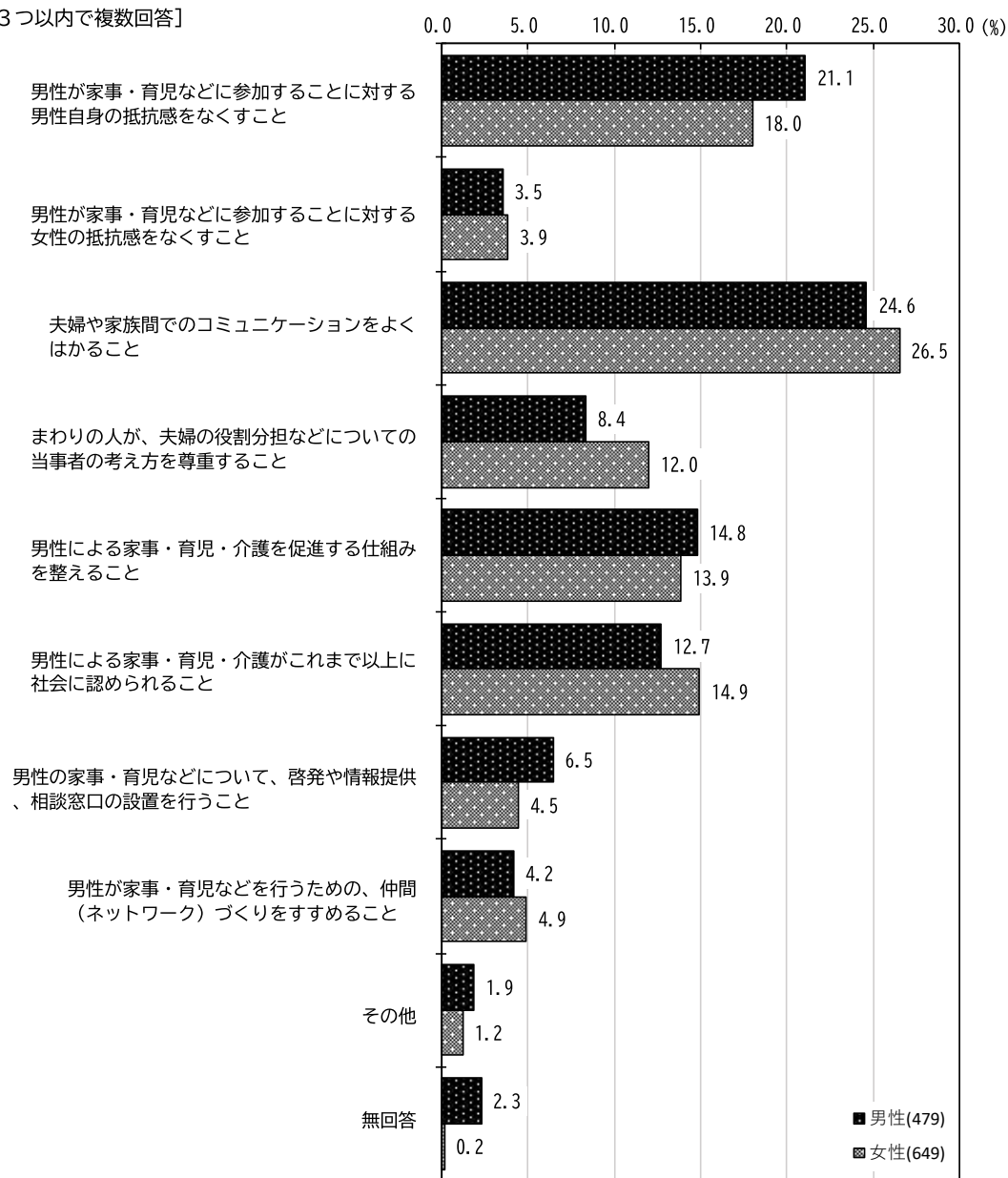


回答数：1,147

性別では、女性は「夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること」や「男性による家事・育児・介護がこれまで以上に社会に認められること」などが多くなっている。

【性別】

[3つ以内で複数回答]



() : 回答数

【性・年代別】

※太字は上位3つ（「その他」・「無回答」を除く）、下線は最上位

	():回答数	男性							
[3つ以内で複数回答]	全体 (1,147)	10歳代 (19)	20歳代 (34)	30歳代 (29)	40歳代 (47)	50歳代 (57)	60歳代 (86)	70歳代 (107)	80歳代 以上 (100)
男性が家事・育児などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと	19.5	<u>21.1</u>	23.5	<u>24.1</u>	<u>23.4</u>	14.0	24.4	21.5	19.0
男性が家事・育児などに参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと	3.8	0.0	2.9	10.3	2.1	3.5	2.3	4.7	3.0
夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること	<u>25.6</u>	15.8	<u>29.4</u>	13.8	<u>23.4</u>	<u>24.6</u>	<u>25.6</u>	<u>26.2</u>	<u>26.0</u>
まわりの人が、夫婦の役割分担などについての当事者の考え方を尊重すること	10.5	<u>21.1</u>	11.8	0.0	6.4	8.8	8.1	8.4	8.0
男性による家事・育児・介護を促進する仕組みを整えること	14.2	10.5	11.8	13.8	19.1	14.0	17.4	14.0	14.0
男性による家事・育児・介護がこれまでに以上に社会に認められること	13.9	10.5	5.9	13.8	14.9	21.1	14.0	10.3	11.0
男性の家事・育児などについて、啓発や情報提供、相談窓口の設置を行うこと	5.2	10.5	2.9	6.9	4.3	10.5	2.3	8.4	7.0
男性が家事・育児などを行うための、仲間(ネットワーク)づくりをすすめること	4.5	10.5	8.8	6.9	6.4	1.8	2.3	2.8	4.0
その他	1.6	0.0	2.9	10.3	0.0	1.8	1.2	1.9	1.0
無回答	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3	1.9	7.0

単位：％

※太字は上位3つ（「その他」・「無回答」を除く）、下線は最上位

	():回答数	女性							
[3つ以内で複数回答]	全体 (1,147)	10歳代 (25)	20歳代 (42)	30歳代 (71)	40歳代 (88)	50歳代 (79)	60歳代 (121)	70歳代 (159)	80歳代 以上 (64)
男性が家事・育児などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと	19.5	8.0	16.7	9.9	14.8	22.8	19.8	20.1	21.9
男性が家事・育児などに参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと	3.8	0.0	4.8	1.4	5.7	5.1	1.7	5.0	4.7
夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること	<u>25.6</u>	<u>28.0</u>	<u>28.6</u>	<u>26.8</u>	<u>23.9</u>	<u>29.1</u>	<u>24.8</u>	<u>25.2</u>	<u>31.3</u>
まわりの人が、夫婦の役割分担などについての当事者の考え方を尊重すること	10.5	20.0	14.3	9.9	11.4	12.7	9.9	14.5	7.8
男性による家事・育児・介護を促進する仕組みを整えること	14.2	16.0	19.0	18.3	14.8	10.1	14.9	11.3	12.5
男性による家事・育児・介護がこれまでに以上に社会に認められること	13.9	8.0	14.3	22.5	17.0	10.1	21.5	9.4	14.1
男性の家事・育児などについて、啓発や情報提供、相談窓口の設置を行うこと	5.2	8.0	0.0	2.8	5.7	2.5	1.7	8.8	3.1
男性が家事・育児などを行うための、仲間(ネットワーク)づくりをすすめること	4.5	12.0	0.0	5.6	4.5	5.1	5.0	5.7	3.1
その他	1.6	0.0	2.4	2.8	2.3	2.5	0.8	0.0	0.0
無回答	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6

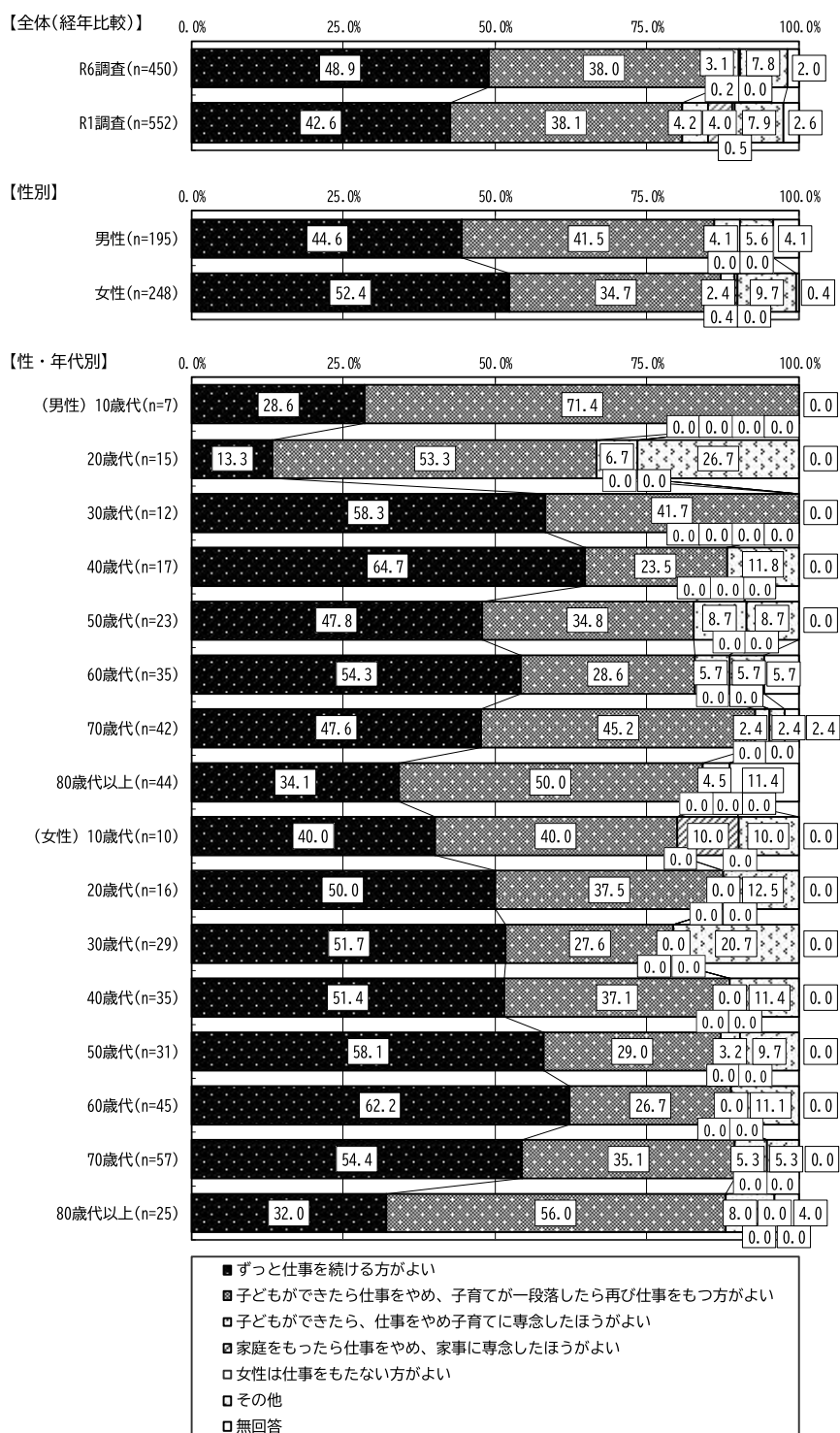
単位：％

2 職業生活について

問7 日本の女性の年齢別の就労率は、子育て世代において著しく低下し、子育てが一段落すると回復する、いわゆる「M字カーブ」を示していましたが、現在は解消しつつあります。そのような中、あなたは、女性が子育て（または家庭生活）と仕事を両立することについて、どのようにお考えですか。もっともあてはまるもの1つに○をつけてください。

「ずっと仕事を続ける方がよい」が48.9%と最も多く、次いで「子どもができたら仕事をやめ、子育てが一段落したら再び仕事をもつ方がよい」が38.0%と続いている。

性別では、女性の方が「ずっと仕事を続ける方がよい」の割合が高く、男女ともに「ずっと仕事を続ける方がよい」「子どもができたら仕事をやめ、子育てが一段落したら再び仕事をもつ方がよい」を合わせた割合は8割を大きく超えている。

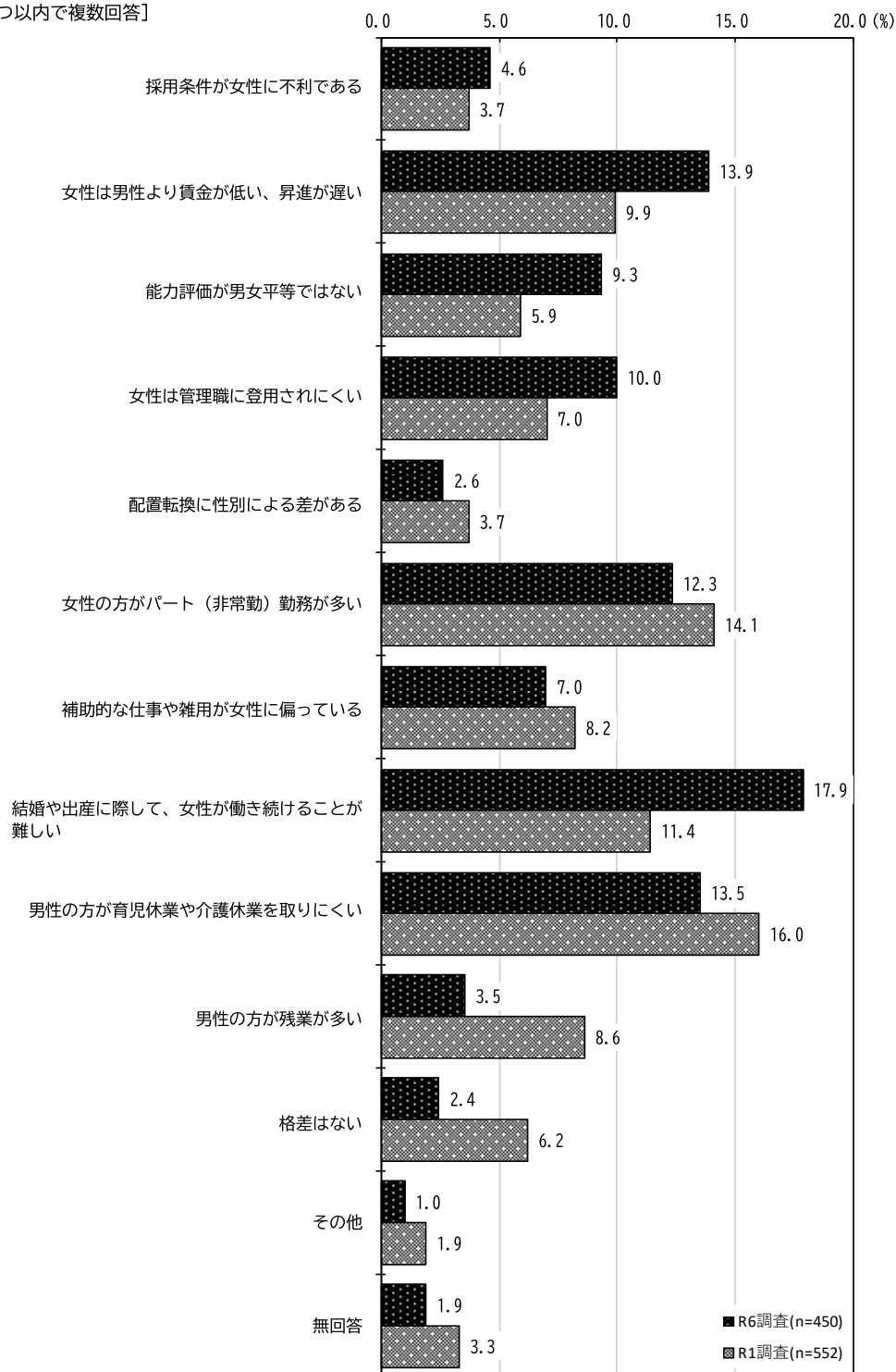


問8 職場において、男女の格差があると思いますか。特に格差があると思うものを3つまで選び、○をつけてください。

「結婚や出産に際して、女性が働き続けることが難しい」が17.9%と最も多く、次いで「女性は男性より賃金が低い、昇進が遅い」が13.9%、「男性の方が育児休業や介護休業を取りにくい」が13.5%と続いている。

【全体】

[3つ以内で複数回答]

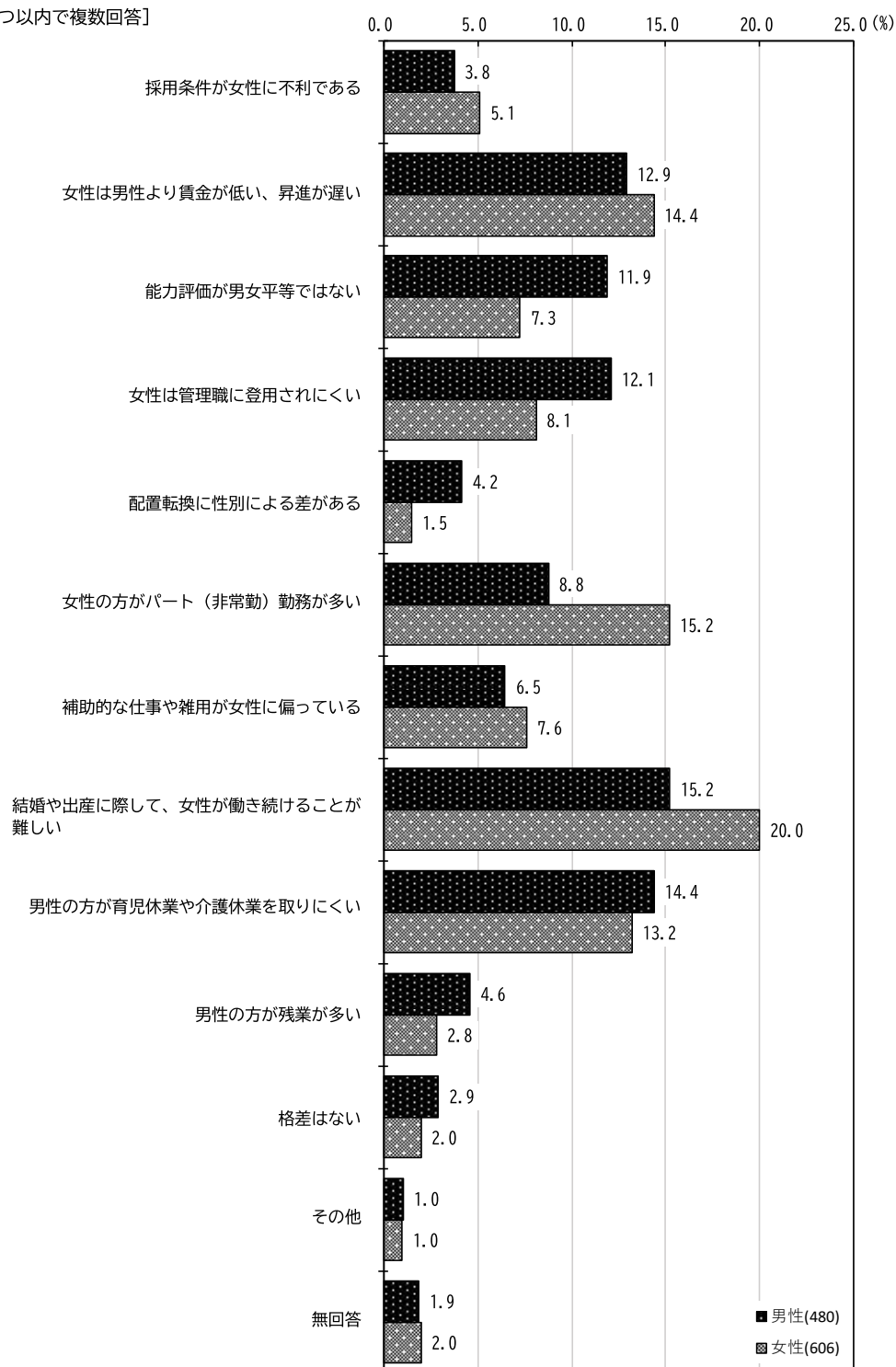


回答数：1,103

性別では、男性は「結婚や出産に際して、女性が働き続けることが難しい」が15.2%と最も多く、次いで「男性の方が育児休業や介護休業を取りにくい」が14.4%と続いている。女性は「結婚や出産に際して、女性が働き続けることが難しい」が20.0%と最も多く、次いで「女性の方がパート（非常勤）勤務が多い」が15.2%と続いている。

【性別】

[3つ以内で複数回答]



() : 回答数

【性・年代別】

※太字は上位3つ（「その他」・「無回答」を除く）、下線は最上位

[3つ以内で複数回答]	全体 (1,103)	男性							
		10歳代 (18)	20歳代 (32)	30歳代 (27)	40歳代 (41)	50歳代 (57)	60歳代 (86)	70歳代 (107)	80歳代 以上 (112)
採用条件が女性に不利である	4.6	5.6	0.0	3.7	2.4	5.3	4.7	3.7	3.6
女性は男性より賃金が低い、昇進が遅い	13.9	0.0	3.1	11.1	12.2	8.8	<u>18.6</u>	14.0	<u>15.2</u>
能力評価が男女平等ではない	9.3	<u>16.7</u>	9.4	11.1	12.2	8.8	12.8	12.1	12.5
女性は管理職に登用されにくい	10.0	<u>16.7</u>	<u>21.9</u>	14.8	9.8	12.3	11.6	12.1	8.9
配置転換に性別による差がある	2.6	5.6	6.3	0.0	2.4	1.8	3.5	4.7	6.3
女性の方がパート（非常勤）勤務が多い	12.3	11.1	6.3	14.8	4.9	10.5	7.0	10.3	8.0
補助的な仕事や雑用が女性に偏っている	7.0	5.6	9.4	0.0	9.8	8.8	4.7	3.7	8.9
結婚や出産に際して、女性が働き続けることが難しい	<u>17.9</u>	<u>16.7</u>	18.8	11.1	9.8	14.0	16.3	<u>19.6</u>	12.5
男性の方が育児休業や介護休業を取りにくい	13.5	<u>16.7</u>	12.5	<u>18.5</u>	<u>17.1</u>	<u>15.8</u>	16.3	13.1	11.6
男性の方が残業が多い	3.5	5.6	3.1	3.7	9.8	5.3	2.3	3.7	5.4
格差はない	2.4	0.0	3.1	7.4	7.3	8.8	1.2	0.9	0.9
その他	1.0	0.0	3.1	3.7	2.4	0.0	0.0	0.9	0.9
無回答	1.9	0.0	3.1	0.0	0.0	0.0	1.2	0.9	5.4

単位：％

※太字は上位3つ（「その他」・「無回答」を除く）、下線は最上位

[3つ以内で複数回答]	全体 (1,103)	女性							
		10歳代 (25)	20歳代 (38)	30歳代 (67)	40歳代 (77)	50歳代 (77)	60歳代 (118)	70歳代 (139)	80歳代 以上 (65)
採用条件が女性に不利である	4.6	4.0	2.6	9.0	3.9	5.2	5.1	5.0	4.6
女性は男性より賃金が低い、昇進が遅い	13.9	12.0	18.4	10.4	5.2	<u>20.8</u>	16.1	15.1	15.4
能力評価が男女平等ではない	9.3	4.0	5.3	4.5	2.6	10.4	8.5	7.9	10.8
女性は管理職に登用されにくい	10.0	12.0	10.5	9.0	7.8	3.9	9.3	7.2	9.2
配置転換に性別による差がある	2.6	0.0	0.0	0.0	2.6	2.6	0.8	2.9	0.0
女性の方がパート（非常勤）勤務が多い	12.3	20.0	7.9	16.4	16.9	18.2	16.1	12.9	13.8
補助的な仕事や雑用が女性に偏っている	7.0	8.0	10.5	1.5	5.2	7.8	7.6	10.8	7.7
結婚や出産に際して、女性が働き続けることが難しい	<u>17.9</u>	<u>24.0</u>	<u>21.1</u>	<u>23.9</u>	<u>23.4</u>	15.6	<u>22.9</u>	<u>15.8</u>	<u>18.5</u>
男性の方が育児休業や介護休業を取りにくい	13.5	12.0	13.2	16.4	22.1	10.4	11.0	12.2	9.2
男性の方が残業が多い	3.5	0.0	5.3	3.0	5.2	0.0	0.8	3.6	4.6
格差はない	2.4	0.0	5.3	4.5	3.9	2.6	1.7	0.0	0.0
その他	1.0	4.0	0.0	1.5	1.3	1.3	0.0	0.7	1.5
無回答	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	0.0	5.8	4.6

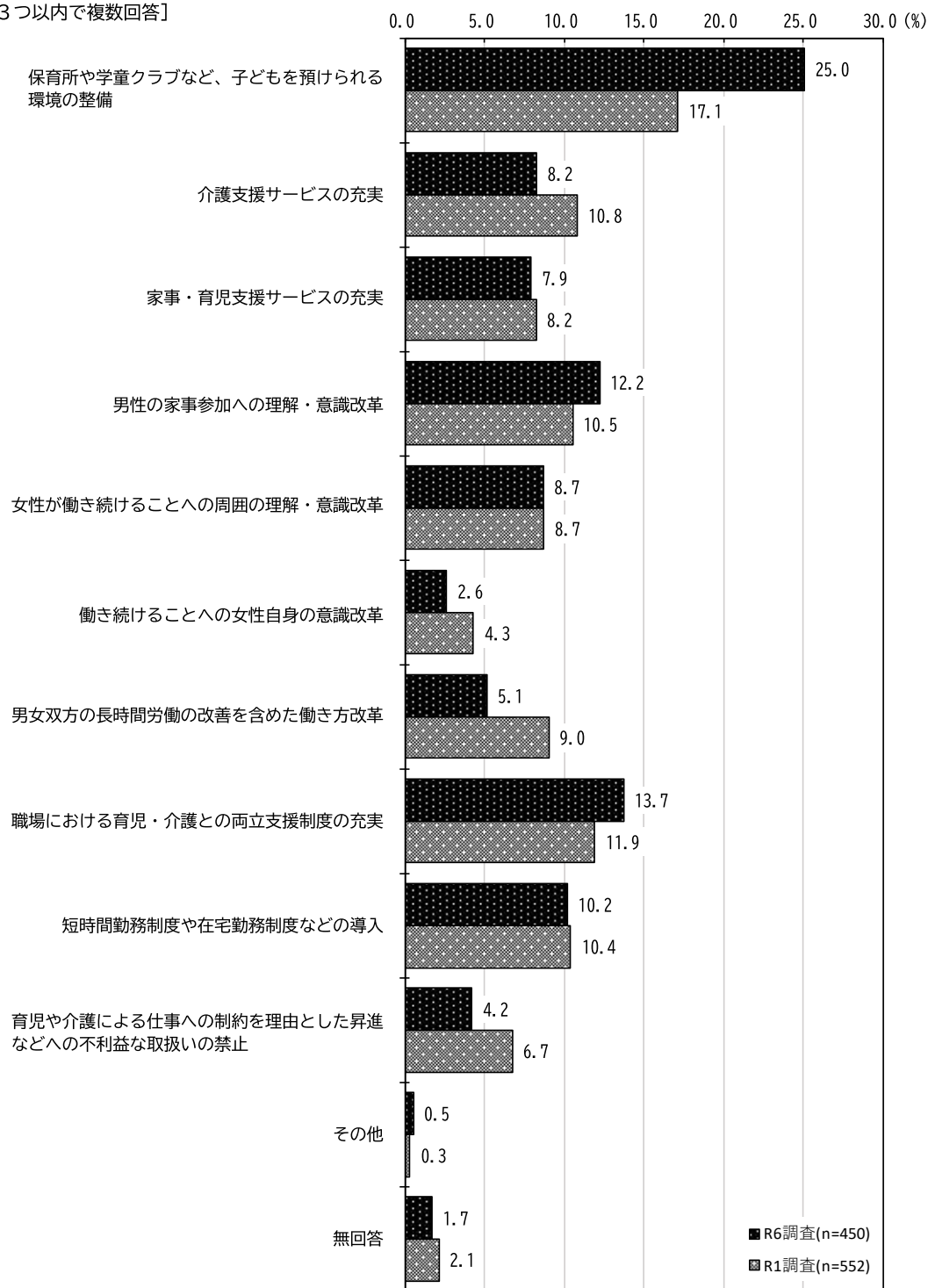
単位：％

問9 女性が離職せずに同じ職場で働き続けるために、あなたが家庭・社会・職場において必要なことは何だと思いますか。特に必要だと思うものを3つまで選び、○をつけてください。

「保育所や学童クラブなど、子どもを預けられる環境の整備」が25.0%と最も多く、次いで「職場における育児・介護との両立支援制度の充実」が13.7%、「男性の家事参加への理解・意識改革」が12.2%と続いている。

【全体】

[3つ以内で複数回答]

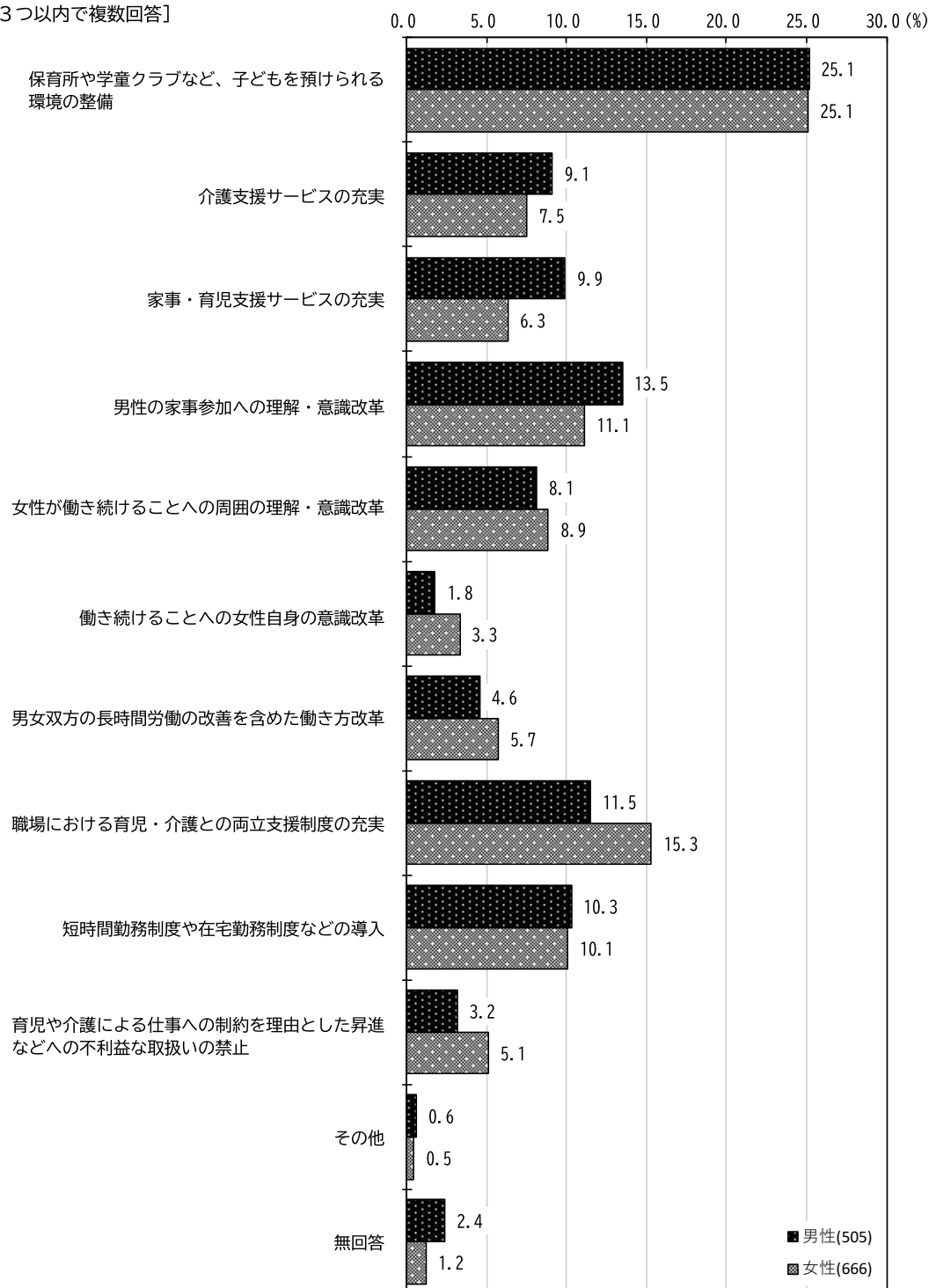


回答数：1,190

性別では、男性、女性ともに「保育所や学童クラブなど、子どもを預けられる環境の整備」が25.1%と最も多く、次いで男性は「男性の家事参加への理解・意識改革」が、女性は「職場における育児・介護との両立支援制度の充実」が多くなっている。

【性別】

[3つ以内で複数回答]



() : 回答数

【性・年代別】

※太字は上位3つ（「その他」・「無回答」を除く）、下線は最上位

〔3つ以内で複数回答〕	全体 (1,190)	男性							
		10歳代 (20)	20歳代 (35)	30歳代 (28)	40歳代 (44)	50歳代 (64)	60歳代 (92)	70歳代 (113)	80歳代 以上 (109)
保育所や学童クラブなど、子どもを預けられる環境の整備	25.0	25.0	31.4	25.0	29.5	28.1	20.7	24.8	23.9
介護支援サービスの充実	8.2	5.0	0.0	10.7	4.5	12.5	8.7	8.8	12.8
家事・育児支援サービスの充実	7.9	10.0	8.6	14.3	15.9	12.5	10.9	9.7	4.6
男性の家事参加への理解・意識改革	12.2	25.0	22.9	10.7	11.4	17.2	13.0	9.7	11.9
女性が働き続けることへの周囲の理解・意識改革	8.7	10.0	8.6	14.3	11.4	6.3	9.8	5.3	7.3
働き続けることへの女性自身の意識改革	2.6	0.0	0.0	0.0	4.5	0.0	2.2	1.8	2.8
男女双方の長時間労働の改善を含めた働き方改革	5.1	0.0	0.0	0.0	0.0	3.1	6.5	7.1	6.4
職場における育児・介護との両立支援制度の充実	13.7	10.0	2.9	10.7	6.8	10.9	14.1	15.9	10.1
短時間勤務制度や在宅勤務制度などの導入	10.2	10.0	20.0	10.7	9.1	7.8	7.6	10.6	11.0
育児や介護による仕事への制約を理由とした昇進などへの不利益な取扱いの禁止	4.2	5.0	0.0	3.6	4.5	0.0	3.3	4.4	3.7
その他	0.5	0.0	2.9	0.0	2.3	1.6	0.0	0.0	0.0
無回答	1.7	0.0	2.9	0.0	0.0	0.0	3.3	1.8	5.5

単位：％

※太字は上位3つ（「その他」・「無回答」を除く）、下線は最上位

〔3つ以内で複数回答〕	全体 (1,190)	女性							
		10歳代 (22)	20歳代 (42)	30歳代 (79)	40歳代 (88)	50歳代 (85)	60歳代 (129)	70歳代 (154)	80歳代 以上 (67)
保育所や学童クラブなど、子どもを預けられる環境の整備	25.0	27.3	28.6	29.1	26.1	27.1	26.4	20.8	20.9
介護支援サービスの充実	8.2	0.0	2.4	2.5	3.4	15.3	7.8	9.1	10.4
家事・育児支援サービスの充実	7.9	13.6	2.4	7.6	11.4	8.2	6.2	3.9	1.5
男性の家事参加への理解・意識改革	12.2	13.6	16.7	10.1	8.0	9.4	10.9	10.4	16.4
女性が働き続けることへの周囲の理解・意識改革	8.7	0.0	14.3	6.3	10.2	7.1	7.0	11.7	9.0
働き続けることへの女性自身の意識改革	2.6	9.1	2.4	0.0	2.3	2.4	3.9	3.9	6.0
男女双方の長時間労働の改善を含めた働き方改革	5.1	4.5	0.0	3.8	2.3	3.5	7.0	10.4	6.0
職場における育児・介護との両立支援制度の充実	13.7	18.2	9.5	19.0	14.8	11.8	16.3	18.2	10.4
短時間勤務制度や在宅勤務制度などの導入	10.2	9.1	16.7	16.5	12.5	10.6	9.3	3.9	10.4
育児や介護による仕事への制約を理由とした昇進などへの不利益な取扱いの禁止	4.2	4.5	4.8	5.1	6.8	3.5	5.4	4.5	6.0
その他	0.5	0.0	2.4	0.0	1.1	1.2	0.0	0.0	0.0
無回答	1.7	0.0	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0	3.2	3.0

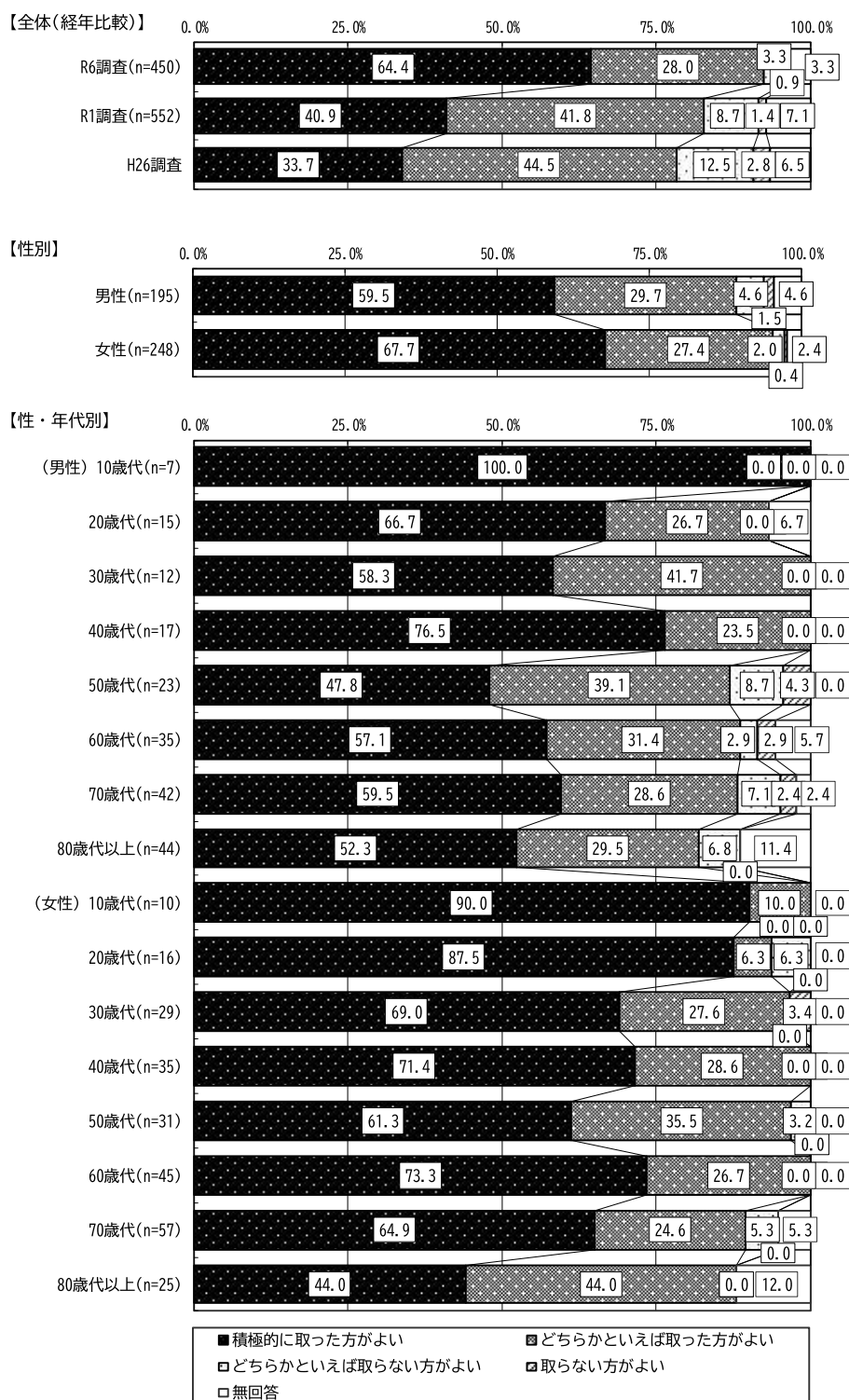
単位：％

問10-1 育児や家族介護を行うために、法律に基づき育児休業や介護休業を取得できる制度があります。
この制度を利用して、男性が育児休業や介護休業を取ることにについて、あなたはどのように思いますか。(〇はそれぞれ1つ)

① 育児休業について

「積極的に取った方がよい」が 64.4%と最も多く、次いで「どちらかといえば取った方がよい」が 28.0%、「どちらかといえば取らない方がよい」が 3.3%、「取らない方がよい」が 0.9%となっている。

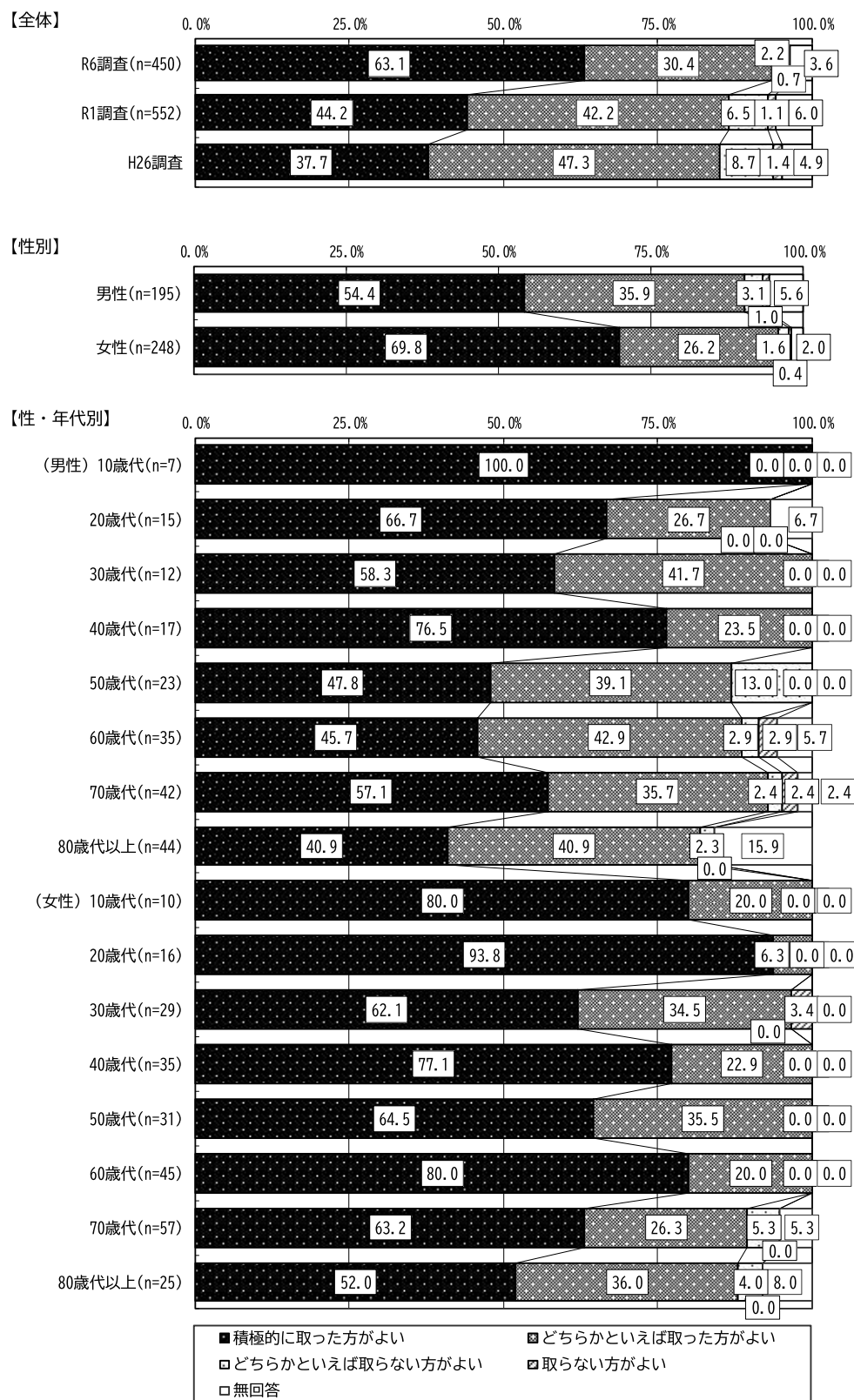
性別では、男性、女性ともに「積極的に取ったほうがよい」が最も多く、「積極的に取った方がよい」「どちらかといえば取った方がよい」を合わせた割合は約9割となっている。(女性80歳代以上は「どちらかといえば取った方がよい」と同率)



② 介護休業について

「積極的に取った方がよい」が 63.1%と最も多く、次いで「どちらかといえば取った方がよい」が 30.4%、「どちらかといえば取らない方がよい」が 2.2%、「取らない方がよい」が 0.7%となっている。

性別では、男性、女性ともに「積極的に取ったほうがよい」が最も多く、「積極的に取った方がよい」「どちらかといえば取った方がよい」を合わせた割合は約9割となっている。

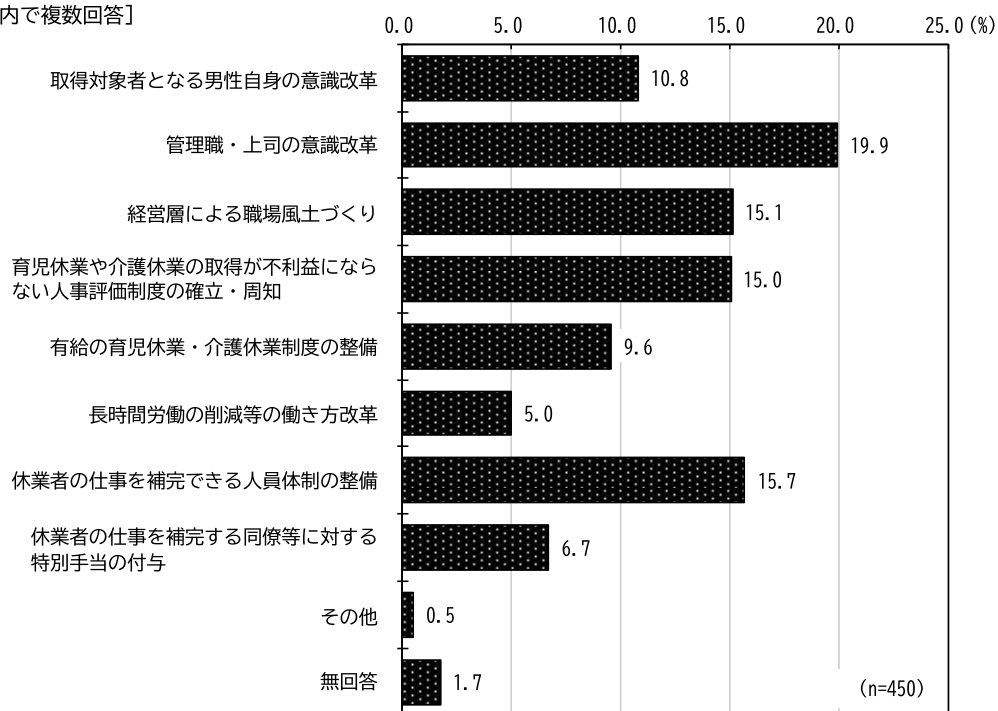


問10-2 男性が育児休業や介護休業の取得をより進めるために、職場においてどのような取組が必要だと思いますか。特に必要だと思うものを3つまで選び、○をつけてください。

「管理職・上司の意識改革」が19.9%と最も多く、次いで「休業者の仕事を補完できる人員体制の整備」が15.7%、「経営層による職場風土づくり」が15.1%と続いている。

【全体】

[3つ以内で複数回答]

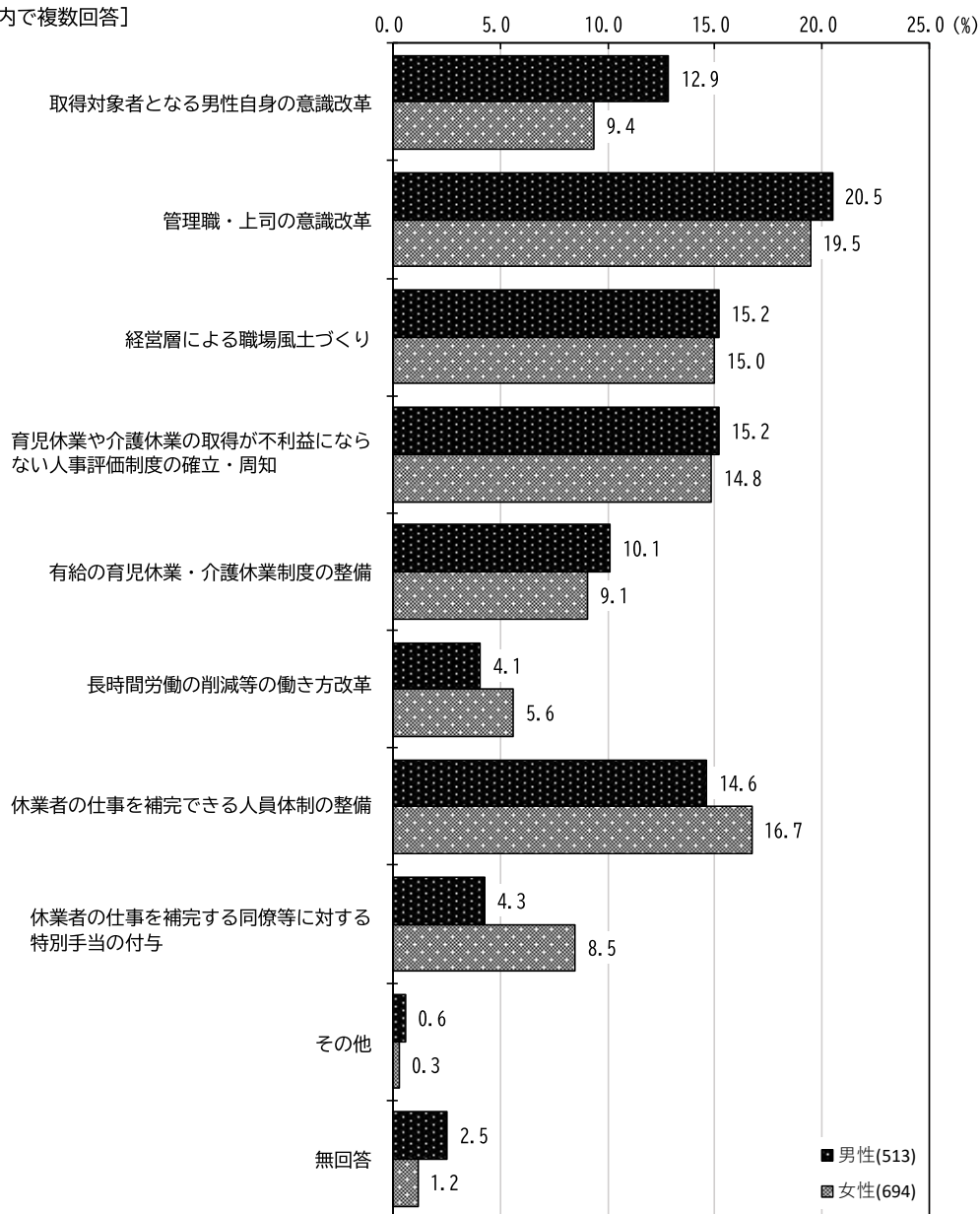


回答数：1,224

性別では、男性は「管理職・上司の意識改革」が20.5%と最も多く、次いで「経営層による職場風土づくり」「育児休業や介護休業の取得が不利益にならない人事評価制度の確立・周知」が同率で15.2%と続いている。女性は「管理職・上司の意識改革」が19.5%と最も多く、次いで「休業者の仕事を補完できる人員体制の整備」が16.7%と続いている。

【性別】

[3つ以内で複数回答]



() : 回答数

【性・年代別】

※太字は上位3つ（「その他」・「無回答」を除く）、下線は最上位

[3つ以内で複数回答]	全体 (1,224)	男性							
		10歳代 (21)	20歳代 (36)	30歳代 (32)	40歳代 (47)	50歳代 (63)	60歳代 (88)	70歳代 (116)	80歳代 以上 (110)
取得対象者となる男性自身の意識改革	10.8	9.5	11.1	12.5	10.6	12.7	12.5	12.9	15.5
管理職・上司の意識改革	19.9	23.8	22.2	18.8	17.0	19.0	19.3	23.3	20.0
経営層による職場風土づくり	15.1	14.3	11.1	15.6	17.0	20.6	14.8	17.2	10.9
育児休業や介護休業の取得が不利益にならない人事評価制度の確立・周知	15.0	19.0	13.9	9.4	17.0	6.3	17.0	16.4	18.2
有給の育児休業・介護休業制度の整備	9.6	14.3	13.9	9.4	8.5	11.1	10.2	11.2	7.3
長時間労働の削減等の働き方改革	5.0	4.8	8.3	12.5	8.5	6.3	3.4	0.9	0.9
休業者の仕事を補完できる人員体制の整備	15.7	0.0	8.3	12.5	12.8	19.0	14.8	14.7	18.2
休業者の仕事を補完する同僚等に対する特別手当の付与	6.7	14.3	8.3	6.3	6.4	4.8	4.5	1.7	1.8
その他	0.5	0.0	0.0	3.1	2.1	0.0	1.1	0.0	0.0
無回答	1.7	0.0	2.8	0.0	0.0	0.0	2.3	1.7	7.3

単位：％

※太字は上位3つ（「その他」・「無回答」を除く）、下線は最上位

[3つ以内で複数回答]	全体 (1,224)	女性							
		10歳代 (30)	20歳代 (43)	30歳代 (83)	40歳代 (97)	50歳代 (87)	60歳代 (132)	70歳代 (155)	80歳代 以上 (67)
取得対象者となる男性自身の意識改革	10.8	13.3	11.6	8.4	3.1	11.5	7.6	11.6	11.9
管理職・上司の意識改革	19.9	20.0	23.3	21.7	15.5	18.4	18.9	21.3	17.9
経営層による職場風土づくり	15.1	13.3	18.6	9.6	16.5	16.1	16.7	13.5	16.4
育児休業や介護休業の取得が不利益にならない人事評価制度の確立・周知	15.0	13.3	7.0	12.0	16.5	12.6	20.5	15.5	11.9
有給の育児休業・介護休業制度の整備	9.6	10.0	14.0	7.2	9.3	8.0	9.8	7.7	10.4
長時間労働の削減等の働き方改革	5.0	3.3	2.3	6.0	6.2	5.7	3.0	9.0	4.5
休業者の仕事を補完できる人員体制の整備	15.7	16.7	11.6	24.1	18.6	17.2	15.2	14.8	14.9
休業者の仕事を補完する同僚等に対する特別手当の付与	6.7	10.0	11.6	10.8	13.4	8.0	8.3	3.9	7.5
その他	0.5	0.0	0.0	0.0	1.0	1.1	0.0	0.0	0.0
無回答	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	0.0	2.6	4.5

単位：％